

2017 年度 課題研究

医療施設の安全・安心に関する事例調査

－設計における建築・設備の工夫の採用実態－

報 告 書

2018 年 3 月

一般社団法人 日本医療福祉建築協会

「医療施設の安全・安心に関する事例調査報告」
ー設計における建築・設備の工夫の採用実態ー

目次

1. はじめに	1
1. 1 調査の背景と目的	2
背景：	
目的：	
2. 調査	3
2. 1 調査の方法	4
調査項目：	
調査方法：	
2. 2 調査の内容	6
調査票：	
2. 3 調査の結果	11
回答数等：	
調査結果：	
3. 分析	19
3. 1 手法や工夫の採用状況	20
採用状況：	
採用しない理由：	
3. 2 項目の「採用度」	23
「採用度」：	
「採用度ランキングシート」：	
3. 3 病床タイプと採用状況	27
タイプによる「採用度」の違い：	
3. 4 その他の手法や工夫	29
その他の手法や工夫：	
4. おわりに	35
「採用度ランキングシート」	37

1. はじめに

1. はじめに

1. 1 調査の背景と目的

背景：

高齢化の進展に伴い、医療提供の場で起こりうる事故等のリスクは高まりつつある。このリスクを低減させることで、患者はもちろん医師・看護師をはじめとした医療施設で働くスタッフの安全を確保し、結果として安心して医療を提供することができる施設環境をつくることは、現代の医療施設設計における大きなテーマの一つとなっている。

目的：

上記のような安全で安心な医療施設の施設環境を具現化し、また社会に広く浸透させるために必要なことの一つは、医療施設の設計者が安全確保のために真に有効な設計上の手法や工夫を実際の設計に用いていくことと考える。

一方、設計者が安全確保のために必要と判断し採用している設計上の手法や工夫は数多く存在するものの、そのほとんどが設計者個人の設計経験や考えに基づくものであり、今用いられている各々の手法や工夫が安全確保に関してどの程度有効であるかについては明らかになっていないのが現状である。

そこで本調査では、真に有効な医療施設の安全確保のための設計上の手法や工夫を定義するための第一歩として、現在、設計者の間で用いられている多種多様な設計上の手法や工夫が、各々どの程度効果があると設計者自身が認識し、また実際の設計にどの程度採用しているのか、さらに各々の手法や工夫に関して、設計者自身が何を判断基準に採否を決めているのか、また採用を阻む要素には何があるのかを明らかにすることを目的とした。

2. 調査

2. 調査

2. 1 調査の方法

調査項目：

本調査は、さまざま存在する医療施設の安全確保を目的とした設計上の手法や工夫の内、現状、実際に用いられているものを対象に行う必要がある。そのような手法や工夫がまとめられている直近の資料として、日本建築学会 建築計画委員会 施設計画運営委員会 医療施設小委員会が 2016 年 3 月にまとめた活動成果報告「**病院の安全・安心における事例集 - 建築・設備の工夫 -**（以下、「事例集」）※」がある。よって本調査では、この「事例集」に挙げられている手法や工夫を対象に調査を行うこととした。

「事例集」には 3 セクション 18 カテゴリー 171 項目にわたる設計上の手法や工夫が挙げられている（表 01）。

セクション (Section)		カテゴリー	項目数	
1	医療事故	転倒・転落	39	103
		感染	49	
		患者の把握	12	
		誤接続	3	
2	院内事故	挟み込み	3	35
		衝突	10	
		漏水	2	
		落下物	2	
		防犯	6	
		自殺	12	
3	災害	地震	7	33
		台風	2	
		水害	3	
		雪害	2	
		火災	4	
		停電	7	
		放射線	4	
		マスギャザリング	4	

表 01 - 「事例集」の項目数（網掛け：本調査対象範囲）

本調査ではその 171 項目の内、施設環境との関連性が深い「Section1 医療事故」に分類される 103 項目を対象として調査を行うこととした。

尚、「Section1 医療事故」は、手法や工夫の種類により 4 つのカテゴリー（「転倒・転落」「感染」「患者の把握」「誤接続」）に分かれており、各々のカテゴリーの項目数は、「転倒・転落」39 項目、「感染」49 項目、「患者の把握」12 項目、「誤接続」3 項目となっている（表 01）。

※：当該報告書は日本建築学会ホームページ（下記 URL）にて一般に公開されている。

https://www.aij.or.jp/jpn/databox/2015/201503_j210.pdf

調査方法：

調査は調査票を用いたアンケート方式により行うこととした。アンケートは実際に医療施設の設計に携わっている主要な設計事務所及びゼネコン設計部を対象とし（表 02）、調査票を対象とした設計事務所及びゼネコン設計部の各々の担当者宛にメールにて送付し、記入後返信してもらう方法をとった。

調査票の送付は 2018 年 10 月ごろ行い、返信は 2018 年 12 月中旬までとした。

設計事務所(30 社)				ゼネコン設計部(7 社)
1 INA 新建築事務	11 佐藤総合計画	21 日本設計		1 安藤・間
2 梓設計	12 昭和設計	22 日立建設設計		2 大林組
3 石本建築事務所	13 大建設	23 本間利雄設計事務所		3 鹿島建設株式会社
4 伊藤喜三郎建築研究所	14 田中建築事務所	24 松田平田設計		4 清水建設株式会社
5 NTT ファシリティーズ	15 中日設計株式会社	25 三菱地所設計		5 大成建設株式会社
6 大旗連合建築設計	16 長建設事務所	26 メイ建築研究所		6 竹中工務店
7 教育施設研究所	17 東畑建築事務所	27 安井建築設計事務所		7 戸田建設株式会社
8 京都建築事務所	18 内藤建築事務所	28 山下設計		
9 共同建築設計事務所	19 日揮	29 山田総合設計		(五十音順)
10 久米設計	20 日建設	30 横河建築事務所		

表 02 - 調査票を送付した設計組織（五十音順）

2. 2 調査の内容

調査票：

調査票は①及び調査票②の 2 種類用意した（図 01、02 7～10 ページ）。

調査票①では、設計者が普段の医療施設の設計業務の中で「事例集」の 103 項目の各々の項目を採用する程度を 3 段階で問うもの（質問①）と、その項目を採用していない場合にその理由を A～E の 7 つの選択肢から選択するもの（質問②・複数回答可）、左記選択肢の内「E.その他」を選んだ場合のみその理由を記入するもの（質問③）、の 3 つの質問を用意した。

調査票②では、直近で実際に設計した医療施設における各項目の採用状況について尋ねるものとし（質問①）、さらに「事例集」103 項目以外に独自に採用した安全確保のための手法や工夫の具体的な事例がある場合は、図面や写真を用いてそれを提示してもらうこととした。

一般的に実務で病院を設計される場合についてお尋ねします、下表質問①～③の該当する欄に○印をおつけください。

			質問①			質問② (質問①で3. 基本的に採用しない、と答えた方のみお答えください。)								質問③ (質問②でE. その他、と答えた項目のみお答えください。)	
カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	1. 基本的 に採用 する	2. 病院の 特性や 施主と の折衝 の中で 採否を 決める	3. 基本的 に採用し ない	A. コストが かかりす ぎる	B. 効果が 期待でき ない/ 効果が 明確で はない	C. スペース が確保 しにくい	D. 意匠上 問題が ある	E. 別の機 能上の 問題が 起きる可 能性が ある	F. クライア ントから の要望が ない	G. 該当す るケース が少な い	E. その他	採用しない主な理由を簡潔にお書きください。	
医療事故 -転倒・転落	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備													
	1-002	床頭側に配置されたトイレ													
	1-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース													
	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置													
	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント													
	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト													
	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯													
	1-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ													
	1-009	複数箇所に設置した個室トイレ													
	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり													
	1-011	背板を設けたトイレ													
	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり													
	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室													
	1-014	目立つ色の手すり													
	1-015	エスカレータの手すり追加													
	1-016	乗降部の平らな部分を長くとったエスカレータ													
	1-017	段の寸法が適切な階段													
	1-018	二段型の手すり													
	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下													
	1-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子													
	1-021	柔らかい床のプレイルーム													
	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット													
	1-023	衝撃防止のためのカーベット													
	1-024	病室内の手すり													
	1-025	洗面台周囲に手すりを設置													
	1-026	身体を支えやすい形状の手すり													
	1-027	途切れない手すりの配置													
	1-028	2か所で支えることができる手すり													
	1-029	トイレへの移動を補助する手すり													
	1-030	転落防止用のガラス													
	1-031	転落防止用の屋上のガラス壁													
	1-032	転落に備えたせり出しと植木													
	1-033	病室窓の転落防止手すり													
	1-034	対応ユーザーを明示するサイン													
	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮: 杖掛け													
	1-036	安全なレバーハンドル													
	1-037	足掛かりとまらない立ち上がり													
	1-038	画像診断室等の扉の沓摺り(床部分)非設置													
	1-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター													
医療事故 -感染	1-040	廊下を簡易に分節するビニールカーテン													
	1-041	救急外来の隔離待合													
	1-042	外来の隔離診察室													
	1-043	感染症患者のための動線計画													
	1-044	ガラス張りのスタッフステーション													
	1-045	NICUの個室化													
	1-046	新生児の感染予防													
	1-047	感染症専用エレベータ													
	1-048	感染症対応病室													
	1-049	パーティションで区切られたICU病床													
	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置													
	1-051	空調環境の中央管理													

→裏面へ

該当する欄に○印をおつけください。

調査票① 2／2

			質問①			質問② (質問①で3. 基本的に採用しない、と答えた方のみお答えください。)								質問③ (質問②でE. その他、と答えた項目のみお答えください。)
カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	1. 基本的 に採用 する	2. 病院の 特性や 施主と の折衝 の中で 採否を 決める	3. 基本的 に採用し ない	A. コストが かかりす ぎる	B. 効果が 期待でき ない/ 効果が 明確では ない	C. スペース が確保し にくい	D. 意匠上 問題があ る	E. 別の機 能上の問 題が起き る可能性 がある	F. クライア ントから の要望が ない	G. 該当す るケース が少ない	E. その他	採用しない主な理由を簡潔にお書きください。
医療事故 -感染	1-052	差圧計の設置												
	1-053	病室の床付近からの排気												
	1-054	高性能フィルター												
	1-055	除菌・脱臭システム												
	1-056	床材の巻き上げ												
	1-057	清掃が容易な仕上材												
	1-058	壁掛け式便器												
	1-059	壁付き収納												
	1-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給												
	1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール												
	1-062	病棟のベッド洗浄スペース												
	1-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画												
	1-064	スタッフステーション内の作業空間の清汚分離												
	1-065	汚物処理室の分散配置												
	1-067	パンデミックを想定した外来区画												
	1-068	小児病棟での家族面会用区画と面会用窓												
	1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具												
	1-070	全室個室化												
	1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防止												
	1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室												
	1-073	PPEラックの病室内設置												
	1-074	手洗いを促す工夫-1												
	1-075	手洗いを促す工夫-2												
	1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い												
	1-077	肘まで洗える手洗い器												
	1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保												
	1-079	人感センサーによる病室手洗い照明の点灯												
	1-080	埃だまりがないペーパータオルホルダー												
	1-081	壁埋め込み型手指消毒ホルダー												
	1-082	一体化された手指消毒ホルダーと使用手順パネル												
1-083	除染装置のある救急入口													
1-084	救急入口の除染装置													
1-085	必要な感染予防対策を表示する病室前モニター													
1-086	病室前に感染予防策の集約													
1-087	清潔区域の床面サイン													
1-088	殺菌性のある銅の取っ手													
1-089	外部からメンテナンス可能な配管													
医療事故 -患者の 把握	1-090	床に書かれたベッド番号												
	1-091	医療看護支援ピクトグラム												
	1-092	患者を観察しやすいスタッフステーション												
	1-093	スタッフステーションに面した重症室												
	1-094	看護拠点の分散配置												
	1-095	集中治療病棟の患者監視モニター												
	1-096	集中治療室における病室前の看護拠点												
	1-097	スタッフステーション内の患者観察スペース												
	1-098	病室前廊下の看護拠点												
	1-099	病室扉へのガラス窓の接地												
	1-100	スタッフステーションから見やすいトイレの扉												
	1-101	患者観察しやすい病室内の水回りレイアウト												
医療事故 -誤接続	1-102	コンセントの誤接続防止												
	1-103	医療ガスのJIS規格と合わせたフレームカラー												
	1-104	各種ガスの取り出し口の工夫												

ご協力ありがとうございました。

図 01 調査票①

直近で設計された病院についてお尋ねします、下表質問①の該当する欄に○印をおつけください。

			質問①						質問①			
カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	1. 採用した	2. 一部採用 した	3. 採用しな かった	カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	1. 採用した	2. 一部採用 した	3. 採用しな かった	
医療事故 -転倒・転落	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備				医療事故 -感染	1-052	差圧計の設置				
	1-002	床頭側に配置されたトイレ					1-053	病室の床付近からの排気				
	1-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース					1-054	高性能フィルター				
	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置					1-055	除菌・脱臭システム				
	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント					1-056	床材の巻き上げ				
	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト					1-057	清掃が容易な仕上材				
	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯					1-058	壁掛け式便器				
	1-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ					1-059	壁付き収納				
	1-009	複数箇所に設置した個室トイレ					1-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給				
	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり					1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール				
	1-011	背板を設けたトイレ					1-062	病棟のベッド洗浄スペース				
	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり					1-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画				
	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室					1-064	スタッフステーション内の作業空間の清汚分離				
	1-014	目立つ色の手すり					1-065	汚物処理室の分散配置				
	1-015	エスカレータの手すり追加					1-067	パンデミックを想定した外来区画				
	1-016	乗降部の平らな部分を長くとったエスカレータ					1-068	小児病棟での家族面会用区画と面会用窓				
	1-017	段の寸法が適切な階段					1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具				
	1-018	二段型の手すり					1-070	全室個室化				
	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下					1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防止				
	1-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子					1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室				
	1-021	柔らかい床のプレイルーム					1-073	PPEラックの病室内設置				
	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット					1-074	手洗いを促す工夫-1				
	1-023	衝撃防止のためのカーベット					1-075	手洗いを促す工夫-2				
	1-024	病室内の手すり					1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い				
	1-025	洗面台周囲に手すりを設置					1-077	肘まで洗える手洗い器				
	1-026	身体を支えやすい形状の手すり					1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保				
	1-027	途切れない手すりの配置					1-079	人感センサーによる病室手洗い照明の点灯				
	1-028	2か所で支えることができる手すり					1-080	埃だまりがないペーパータオルホルダー				
	1-029	トイレへの移動を補助する手すり					1-081	壁埋め込み型手指消毒ホルダー				
	1-030	転落防止用のガラス					1-082	一体化された手指消毒ホルダーと使用手順パネル				
	1-031	転落防止用の屋上のガラス壁					1-083	除染装置のある救急入口				
	1-032	転落に備えたせり出しと植木					1-084	救急入口の除染装置				
	1-033	病室窓の転落防止手すり					1-085	必要な感染予防対策を表示する病室前モニター				
	1-034	対応ユーザーを明示するサイン					1-086	病室前に感染予防策の集約				
	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮: 杖掛け					1-087	清潔区域の床面サイン				
	1-036	安全なレバーハンドル					1-088	殺菌性のある銅の取っ手				
	1-037	足掛かりとならない立ち上がり					1-089	外部からメンテナンス可能な配管				
	1-038	画像診断室等の扉の沓摺り(床部分)非設置					医療事故 -患者の 把握	1-090	床に書かれたベッド番号			
	1-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター						1-091	医療看護支援ビクトグラム			
医療事故 -感染	1-040	廊下を簡易に分節するビニールカーテン				1-092		患者を観察しやすいスタッフステーション				
	1-041	救急外来の隔離待合				1-093		スタッフステーションに面した重症室				
	1-042	外来の隔離診察室				1-094		看護拠点の分散配置				
	1-043	感染症患者のための動線計画				1-095		集中治療病棟の患者監視モニター				
	1-044	ガラス張りのスタッフステーション				1-096		集中治療室における病室前の看護拠点				
	1-045	NICUの個室化				1-097		スタッフステーション内の患者観察スペース				
	1-046	新生児の感染予防				1-098		病室前廊下の看護拠点				
	1-047	感染症専用エレベータ				1-099		病室扉へのガラス窓の接地				
	1-048	感染症対応病室				1-100		スタッフステーションから見やすいトイレの扉				
	1-049	パーティションで区切られたICU病床				1-101		患者観察しやすい病室内の水回りレイアウト				
	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置				医療事故 -誤接続	1-102	コンセントの誤接続防止				
	1-051	空調環境の中央管理					1-103	医療ガスのJIS規格と合わせたフレームカラー				
						1-104	各種ガスの取り出し口の工夫					

→裏面へ

病院名をお教えてください。差支えがある場合は、その病院の病床区分と病床数をお教えてください。

--

表面の項目以外に、当該病院の設計で採り入れた「医療事故に関する安心安全の工夫（転倒・転落／感染／患者の把握／誤接続／その他）」があれば教えてください（複数可）
また、工夫の内容がわかる図面や写真があれば別途添付してください。

右の工夫が該当する カテゴリーを下から 一つ選択してくださ い。	内容：
転倒・転落	
感染	
患者の把握	
誤接続	
その他	

右の工夫が該当する カテゴリーを下から 一つ選択してくださ い。	内容：
転倒・転落	
感染	
患者の把握	
誤接続	
その他	

右の工夫が該当する カテゴリーを下から 一つ選択してくださ い。	内容：
転倒・転落	
感染	
患者の把握	
誤接続	
その他	

右の工夫が該当する カテゴリーを下から 一つ選択してくださ い。	内容：
転倒・転落	
感染	
患者の把握	
誤接続	
その他	

右の工夫が該当する カテゴリーを下から 一つ選択してくださ い。	内容：
転倒・転落	
感染	
患者の把握	
誤接続	
その他	

ご協力ありがとうございました。

2. 3 調査の結果

回答数等：

調査票は 37 の設計事務所及びゼネコン設計部（表 02）の医療施設担当者に送付し、調査票①、②とも 22 の設計組織から回答を得た（回答率 59.5%）。また調査票②では、22 社から 41 の医療施設についての回答を得た。

調査結果：

調査結果を一覧表にしたものを、調査票①について 12 ページ～14 ページ（表 04）に、調査票②について 15 ページ～17 ページ（表 05）に示す。

調査票①まとめ-1

カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	A社		B社		C社		D社		E社		F社		G社		H社		I社		J社	
			質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②
医療事故 -転倒・転落	I-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	2		1		2		2		2		1		2		3 BH	2		2		1
	I-002	床頭側に配置されたトイレ	2		2		3 C		2		3 C		2		2		3 BH	2		2		2
	I-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	2		1		3 E		2		2		1		1		1	2		2		2
	I-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	2		2		3 E		2		3 BE	3 E	1		1		2	1		3 E		1
	I-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	1		1		2 E		1		1	2	1		1		1	1		1		1
	I-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	3 FG		2		3 G		2		2	2	2		2		3 AG	2		2		2
	I-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	1		1		1		1		1	1	1		1		2	1		1		1
	I-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	1		2		2		2		2	1	1		1		3 A	2		1		1
	I-009	複数箇所に設置した個室トイレ	3 ACF		2		2 AG		1		1	2	1		1		2	2		1		1
	I-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり	2		1		2		2		2	2	2		2		2	2		2		2
	I-011	背板を設けたトイレ	2		2		2		1		2	2	3 E		2		2	2		1		1
	I-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	2		2		2		2		2	2	2		2		3 F	2		2		2
	I-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	2		2		2		2		2	2	2		2		2	2		1		1
	I-014	目立つ色の手すり	2		2		3 B		2		1	2	2		2		3 H	2		2		2
	I-015	エスカレータの手すり追加	1		2		1		1		3 B	3 F	2		2		3 ABH	2		1		1
	I-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ	3 B		2		1		2		1	2	1		2		1	1		1		1
	I-017	段の寸法が適切な階段	1		2		2		1		1	1	1		1		1	1		2		2
	I-018	二段型の手すり	3 B		2		2		2		2	2	2		2		2	2		2		2
	I-019	休憩用ベンチを設けた廊下	2		2		3 H		2		2	2	2		1		2	2		2		2
	I-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	3 FH		2		1		2		2	2	2		1		3 GH	2		2		2
	I-021	柔らかい床のフレイルーム	1		1		1 H		2		1	1	1		2		1	2		1		1
	I-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	3 H		3 B		2		2		2	3 H	3		3		3 H	2		2		2
	I-023	衝撃防止のためのカーペット	2		2		2		2		2	2	2		2		3 H	2		1		1
	I-024	病室内の手すり	2		2		2		2		2	2	2		2		2	3 M		2		2
	I-025	洗面台周囲に手すりを設置	2		2		3 B		2		2	2	1		3 H		3 H	2		2		2
	I-026	身体を支えやすい形状の手すり	1		2		1		2		1	3 H	1		1		1	2		2		2
	I-027	途切れない手すりの配置	1		1		1		1		1	1	1		2		1	1		1		1
	I-028	2か所で支えることができる手すり	2		2		2		2		1	2	2		2		2	2		2		2
	I-029	トイレへの移動を補助する手すり	2		1		2		2		2	1	1		1		2	2		2		2
	I-030	転落防止用のガラス	2		2		1		1		2	2	2		2		1	2		2		2
	I-031	転落防止用の屋上のガラス壁	2		2		2 A		2		2	2	2		2		2	2		2		2
	I-032	転落に備えたりせ出しと植木	2		2		3 E		1		2	1	1		2		3 H	3 M		2		2
	I-033	病室窓の転落防止手すり	3 H		2		2 H		1		2	3 D	2		2		2	1		3 B		1
	I-034	対応ユーザーを明示するサイン	2		2		1		2		2	3 F	2		2		2	2		2		2
	I-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け	2		2		1		3 E		2	2	2		2		3 H	2		2		2
	I-036	安全なレバーハンドル	1		2		1		2		1	1	1		1		1	1		2		1
	I-037	足掛かりとまらない立ち上がり	1		1		1		1		1	1	1		1		1	2		1		1
	I-038	画像診断室等の扉の密着り（床部分）非設置	1		1		2		1		1	2	1		1		1	1		1		1
	I-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	1		1		2		1		1	1	1		1		1	1		1		1
医療事故 -感染	I-040	廊下を簡易に分節するビニールカーテン	3 BE		2		3 BD		2		3 BE	2		3 E		3 H	3 B		3 DFG			
	I-041	救急外来の隔離待合	2		2		1		1		2	1		1		1	2		1			
	I-042	外来の隔離診察室	2		2		1		1		2	1		1		1	2		1			
	I-043	感染症患者のための動線計画	2		2		1		1		2	1		1		1	2		1			
	I-044	ガラス張りのスタッフステーション	2		2		2 E		1		2	2		1		2	3 G		3 BFG			
	I-045	NICUの個室化	2		2		2 C		2		2	2		2		2	2		2			
	I-046	新生児の感染予防	2		2		3 F		2		2	2		1		1	2		1			
	I-047	感染症専用エレベータ	2		2		2 H		2		2	2		2		1	2		2			
	I-048	感染症対応病室	2		2		1		1		2	2		2		1	2		1			
	I-049	パーティションで区切られたICU病床	2		2		2 H		1		2	2		2		1	2		2			
医療事故 -感染	I-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置	2		2		2 H		2		2	2		2		2	2		2			
	I-051	空調環境の中央管理	1		2		3 H		2		2	2		1		2	2		1			
	I-052	差圧計の設置	2		2		1		2		2	2		2		2	1		2			
	I-053	病室の床付近からの排気	2		2		3 AB		2		2	2		2		2	3 F		2			
	I-054	高性能フィルター	2		2		3 H		2		2	2		1		2	3 F		1			
	I-055	除菌・脱臭システム	2		2		3 AB		2		2	2		2		2	2		2			
	I-056	床材の巻き上げ	1		2		2 AH		1		1	1		1		2	1		1			
	I-057	清掃が容易な仕上材	1		1		1		1		1	1		1		1	1		1			
	I-058	壁掛け式便器	1		1		2 AE		1		1	1		3 G		2	1		1			
	I-059	壁付き収納	1		2		2		2		3 E	2		2		3 ABH	2		2			
	I-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給	2		2		1		1		1	2		2		2	2		2			
	I-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	1		1		1		1		1	1		1		1	1		1			
	I-062	病棟のベッド洗浄スペース	3 H		2		2 H		2		3 ACE	2		2		3 H	2		2			
	I-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画	1		2		1		1		1	2		1		1	1		1			
	I-064	スタッフステーション内の作業空間の清污分離	1		2		1		1		1	1		1		1	1		1			
	I-065	汚物処理室の分散配置	1		2		3 E		1		2	2		1		2	2		2			
	I-067	バンデミックを想定した外来区画	2		2		1		2		2	2		1		1	2		2			
	I-068	小児病棟での家族面会区画と面会用窓	2		2		3 H		2		2	2		1		2	2		2			

調査票①まとめ-2

カテゴリー			No.	項目 (具体的な工夫)	K社-1		K社-2		L社		M社		N社		O社		P社		Q社		R社-1		R社-2	
					質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②
医療事故 -転倒・転落	I-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	2		2		1		1		2		2		2		3 F		2		2		2	
	I-002	床頭側に配置されたトイレ	2		2		2		1		1		2		3 F		2		3 F		2		3 C	
	I-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	2		3 C		3 CFGH		2		1		3 C		2		2		1		1		2	
	I-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	2		2		2 G		2		2		3 F		2		1		1		1		3 F	
	I-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	1		1		1		1		1		2		2		1		1		1		1	
	I-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	3 F		3 A		3 AF		2		3 FG		3 G		2		3 F		3 ACF		3 F		3 F	
	I-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	1		1		1		1		1		1		2		1		2		2		2	
	I-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	2		2		1		1		2		1		2		1		1		1		2	
	I-009	複数箇所に設置した個室トイレ	1		3 AC		1		2		1		1		2		3 F		2		1		2	
	I-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり	1		2		1		2		1		1		2		1		2		2		2	
	I-011	背板を設けたトイレ	1		2		2		2		2		1		2		1		1		1		2	
	I-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	2		2		2		2		1		2		1		2		2		2		3 F	
	I-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	1		2		2		2		2		2		2		1		1		1		2	
	I-014	目立つ色の手すり	1		1		2		2		3 ADF		2		2		1		2		2		2	
	I-015	エスカレータの手すり追加	2		1		2		2		3 AF		2		2		3 G		2		2		2	
	I-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ	1		1		2		1		3 BF				1		3 G		1		1		2	
	I-017	段の寸法が適切な階段	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	I-018	二段型の手すり	2		2		2		2		2		2		2		3 F		2		2		2	
	I-019	休憩用ベンチを設けた廊下	2		3 E		2		2		2		3 H		2		3 A		2		2		2	
	I-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	3 H		3 AE		2		1		3 FG		3 H		2		2		3 H		2		2	
	I-021	乗らかい床のブレイルーム	1		2		1		1		2		2		2		1		1		1		1	
	I-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	1		2		2		2		3 H		3 F		3 DE		2		2		2		2	
	I-023	衝撃防止のためのカーペット	3 E		2		2		2		2 EF		3 F		2		3 E		2		2		3 E	
	I-024	病室内の手すり	3 C		2		2		2		2		3 C		2		2		2		2		2	
	I-025	洗面台周囲に手すりを設置	2		2		2		1		2		3 C		2		3		2		2		2	
	I-026	身体を支えやすい形状の手すり	2		1		2		1		2		2 C		2		3 A		1		1		2	
	I-027	途切れない手すりの配置	2		2		2		1		1		3		2		1		1		1		1	
	I-028	2か所で支えることができる手すり	2		2		2		1		F		3 C		2		2		1		2		2	
	I-029	トイレへの移動を補助する手すり	2		2		2		1		2		2		2		3 F		2		2		3 C	
	I-030	転落防止用のガラス	2 G		1		2		1		2		3		2		3 G		2		2		2	
	I-031	転落防止用の屋上のガラス壁	2 AG		2		2		2		2		3 F		2		2		2		2		3 A	
	I-032	転落に備えたせり出しと植木	3 G		2		2		2		3 EF		2		2		3 G		2		2		3 G	
	I-033	病室窓の転落防止手すり	2		3 B		2		1		1		1		3 H		3 D		2		1		1	
	I-034	対応ユーザーを明示するサイン	2		2		1		2		2		1		2		2		1		1		1	
	I-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け	1		2		2		1		2		2		2		1		2		2		2	
	I-036	安全なレバーハンドル	2		1		1		1		3 F		1		1		1		1		1		1	
	I-037	足掛かりとならない立ち上がり	3 H		1		1		1		1		1		2		3 G		1		1		3 B	
	I-038	画像診断室等の扉の谷摺り（床部分）非設置	1		1		2		1		1		1		2		1		2		1		1	
	I-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	1		2		1		1		2		1		1		1		1		1		1	
医療事故 -感染	I-040	廊下を簡単に分節するビニールカーテン	3 FH		3 EF		3 DE		2		3 BF		3 F		3 DE		3 F		2		2		2	
	I-041	救急外来の隔離待合	2		2		1		1		2		2		2		3 G		1		1		2	
	I-042	外来の隔離診察室	2		2		1		1		2		2		2		3 G		1		2		2	
	I-043	感染症患者のための動線計画	2		2		1		1		2		2		1		2		1		1		2	
	I-044	ガラス張りのスタッフステーション	2		2		2		2		2		2		2		3 G		2		2		3 G	
	I-045	NICUの個室化	2		2		2		2		2		2		2		3 G		2		2		2	
	I-046	新生児の感染予防	2		2		2		1		2		2		2		3 G		1		1		2	
	I-047	感染症専用エレベータ	3 FG		3 ACF		2		2		2		2		2		3 G		2		2		3 G	
	I-048	感染症対応病室	1		2		1		1		2		2		2		3 G		1		1		2	
	I-049	パーティションで区切られたICU病床	1		2		1		2		2		2		2		3 G		1		1		2	
医療事故 -感染	I-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2	
	I-051	空調環境の中央管理	1		1		2		2		2		2		2		3 G		2		2		1	
	I-052	差圧計の設置	1		1		2		2		3 F		3 F		2		2		2		2		2	
	I-053	病室の床付近からの排気	2		2		2		2		3 AF		3 A		2		3 G		2		2		2	
	I-054	高性能フィルター	1		1		2		2		3 AF		2		2		3 G		2		2		2	
	I-055	除菌・脱臭システム	3 B		2		2		2		3 AF		2		2		3 A		2		2		2	
	I-056	床材の巻き上げ	2		2		2		1		1		2		2		1		2		1		1	
	I-057	清掃が容易な仕上材	1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	I-058	壁掛け式便器	1		1		1		3 E		2		1		1		3 A		1		1		2	
	I-059	壁付き収納	2		2		2		2		3 FG		1		2		2		1		1		2	
	I-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給	1		2		2		2		2		2		2		3 G		1		1		2	
	I-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	I-062	病棟のベッド洗浄スペース	3 CF		3		3 ABCFG		2		3 CF		3 F		3 ACF		3 F		2		2		3 F	
	I-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分節する配置計画	2		1																			

調査票①まとめ-3

カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	S社		T社		U社		V社		項目ごと			
			質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	質問①	質問②	平均値	1の数	2の数	3の数
医療事故 -転倒・転落	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	1		1		2		3	AC	1.83	7	14	3
	1-002	床頭側に配置されたトイレ	2		1		2		2		2.17	2	16	6
	1-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	2		2		2		3	C	1.96	6	13	5
	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	2		2		2		3	A	2.13	4	13	7
	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	1		1		1		1		1.17	20	4	0
	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	2		2		3	G	2		2.52	0	12	12
	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	2		2		1		2		1.30	17	7	0
	1-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	1		2		1		2		1.57	11	12	1
	1-009	複数箇所に設置した個室トイレ	2		2		2		2		1.74	10	11	3
	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり	2		2		1		2		1.70	7	17	0
	1-011	背板を設けたトイレ	2		2		2		2		1.83	6	17	1
	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	2		1		2		3	B	2.00	3	18	3
	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	2		2		2		2		1.83	4	20	0
	1-014	目立つ色の手すり	2		1		3	D	1		1.91	6	14	4
	1-015	エスカレータの手すり追加	2		2		3	G	1		2.04	6	12	6
	1-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ	2		2		3	G	2		1.73	10	9	4
	1-017	段の寸法が適切な階段	1		1		1		1		1.13	21	3	0
	1-018	二段型の手すり	2		2		3	B	2		2.13	0	21	3
	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下	2		2		2		2		2.13	1	19	4
	1-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	2		2		2		2		2.17	3	14	7
	1-021	柔らかい床のフレイルーム	2		1		1		1		1.30	16	8	0
	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	3	B	2		3	G	1		2.35	2	12	10
	1-023	衝撃防止のためのカーペット	2		2		3	G	2		2.22	1	17	6
	1-024	病室内の手すり	2		2		2		2		2.13	0	21	3
	1-025	洗面台周囲に手すりを設置	2		2		2		3		2.13	2	17	5
	1-026	身体を支えやすい形状の手すり	2		2		2		2		1.74	8	14	2
	1-027	途切れない手すりの配置	1		1		2		2		1.39	16	7	1
	1-028	2か所で支えることができる手すり	2		2		2		2		1.91	3	19	1
	1-029	トイレへの移動を補助する手すり	2		2		1		2		1.87	5	17	2
	1-030	転落防止用のガラス	1		2		3	G	1		1.87	7	14	3
	1-031	転落防止用の壁上のガラス壁	2		2		3	G	1		2.09	1	20	3
	1-032	転落に備えたせり出しと植木	2		2		3	G	2		2.30	2	14	8
	1-033	病室窓の転落防止手すり	3	H	1		3	G	2		2.09	7	9	8
	1-034	対応ユーザーを明示するサイン	1		2		1		2		1.74	7	16	1
	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け	1		2		2		2		1.83	5	17	2
	1-036	安全なレバーハンドル	1		2		2		1		1.30	17	6	1
	1-037	足掛かりとならない立ち上がり	1		1		1		1		1.35	19	2	3
	1-038	画像診断室等の扉の沓摺り（床部分）非設置	2		2		1		1		1.30	17	7	0
	1-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	1		1		1		1		1.13	21	3	0
医療事故 -感染	1-040	廊下を簡易に分断するビニールカーテン	2		2		3	G	2		2.65	0	9	15
	1-041	救急外来の隔離待合	1		2		1		2		1.61	11	12	1
	1-042	外来の隔離診察室	2		1		1		2		1.61	11	12	1
	1-043	感染症患者のための動線計画	2				2		2		1.59	10	13	0
	1-044	ガラス張りのスタッフステーション	2		1		3	G	2		2.13	3	16	5
	1-045	NICUの個室化	2		2		3	G	2		2.09	0	21	2
	1-046	新生児の感染予防	2		1		2		2		1.83	6	16	2
	1-047	感染症専用エレベータ	2		2		3	G	2		2.17	1	18	5
	1-048	感染症対応病室	2		2		2		1		1.73	8	14	1
	1-049	パーティションで区切られたICU病床	1		2		2		1		1.78	7	16	1
医療事故 -感染	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置	2		2		2		2		2.00	0	23	0
	1-051	空調環境の中央管理	2		2		2		2		1.83	6	16	2
	1-052	差圧計の設置	2		2		3	G			1.95	4	15	3
	1-053	病室の床付近からの排気	2		2		3	G	2		2.26	0	18	6
	1-054	高性能フィルター	2		2		2		2		2.00	4	16	4
	1-055	除菌・脱臭システム	2		2		2		2		2.17	0	20	4
	1-056	床材の巻き上げ	1		1		2		2		1.48	13	11	0
	1-057	清掃が容易な仕上材	1		1		1		2		1.09	22	2	0
	1-058	壁掛け式便器	2		2		2		2		1.61	13	8	3
	1-059	壁付き収納	2		2		2		2		1.96	4	17	3
	1-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給	2		2		2		2		1.87	5	18	1
	1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	1		1		1		1		1.00	24	0	0
	1-062	病棟のベッド洗浄スペース	2		2		3	G	2		2.52	0	12	12
	1-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画	2		1		2		2		1.39	15	9	0
	1-064	スタッフステーション内の作業空間の清汚分離	2		2		1		1		1.22	19	5	0
	1-065	汚物処理室の分散配置	2		1		2		3	AC	1.83	8	13	3
	1-067	パンデミックを想定した外来区画	2		2		2		2		1.91	4	18	2
	1-068	小児病棟での家族面会用区画と面会用窓	2		1		3	G	2		1.95	4	16	3
	1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具	2		1		2		2		1.57	12	11	1
	1-070	全室個室化	2		2		2		2		2.09	0	22	2
	1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防止	2		2		2		2		2.30	0	17	7
	1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室	2		2		3	G	2		2.30	0	17	7
	1-073	PPEラックの病室内設置	2		2		2		2		1.87	5	17	2
	1-074	手洗いを促す工夫-1	2		2		3	G	1		1.96	4	17	3
	1-075	手洗いを促す工夫-2	2		2		3	G	1		1.78	7	15	2
	1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い	1		1		3	G	1		1.13	22	1	1
	1-077	肘まで洗える手洗い器	2		1		2		1		1.61	10	14	0
	1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保	2		1		3	G	1		1.57	14	6	4
	1-079	人感センサーによる病室手洗い照明の点灯	2		2		2		2		2.09	3	16	5
	1-080	埃だまりがないペーパータオルホルダー	2		2		2		2		2.22	2	15	7
	1-081	壁埋め込み型手指消毒ホルダー	2		2		1		2		1.83	5	17	2
	1-082	一体化された手指消毒ホルダーと使用手順パネル	2		2		3	G	2		2.17	2	15	7
	1-083	除染装置のある救急入口	2		2		3	G	2		2.00	6	12	6
	1-084	救急入口の除染装置	2		2		3	G	1		1.83	7	14	3
	1-085	必要な感染予防対策を表示する病室前モニター	2		2		3	G	2		2.22	1	17	6
	1-086	病室前に感染予防策の集約	2		2		3	G	1		2.13	2	16	6
	1-087	清潔区域の床面サイン	2		2		3	G	2		2.22	1	17	6
	1-088	殺菌性のある銅の取っ手	3	A	2		3	G	2		2.70	0	8	16
	1-089	外部からメンテナンス可能な配管	2		2		3	G	2		2.22	0	19	5
医療事故 -患者の把握	1-090	床に書かれたベッド番号	2		2		3	G	2		2.57	1	9	14
	1-091	医療看護支援ピクトグラム	2		2		3	G	2		2.04	3	17	4
	1-092	患者を観察しやすいスタッフステーション	2		1		1		2		1.35	16	8	0
	1-093	スタッフステーションに面した重症室	2		1		1		2		1.26	18	6	0
	1-094	看護拠点の分散配置	3	AB	2		2		3	B	2.13	1	19	4
	1-095	集中治療病棟の患者監視モニター	2		1		2		2		1.78	7	16	1
	1-096	集中治療室における病室前の看護拠点	2		2		3	G	2		1.83	6	16	2
	1-097	スタッフステーション内の患者観察スペース	2		2		2		2		1.91	4	18	2
	1-098	病室前廊下の看護拠点	2		2		3	G	2		2.22	0	19	5
	1-099	病室扉へのガラス窓の接地	2		2		1		2		1.83	6	16	2
	1-100	スタッフステーションから見やすいトイレの扉	2		2		2		2		2.30	0	17	7
医療事故 -誤接続	1-101	患者観察しやすい病室内の水回りレイアウト	2		2		2		2		1.91	4	18	2
	1-102	コンセントの誤接続防止	1		2		2		1		1.26	18	6	0
	1-103	医療ガスのJIS規格と合わせたフレームカラー	2		2		2		1		1.74	9	12	3
	1-104	各種ガスの取り出し口の工夫	1		2		3	G	1		1.52	14	8	2
平均			平均値		1.85		1.72		2.16		1.81			
合計カウント	1の数		19		29		21		26					
	2の数		80		73		45		69					
	3の数		4		0		37		7					
	未記入		0		1		0		1					
	合計		103		103		103		103					
医療事故 - 転倒・転落	平均値		1.77		1.72		1.97		1.82					
	1の数		11		11		12		12					
	2の数		26		28		16		22					
	3の数		2		0		11		5					
医療事故 - 感染	平均値		1.											

調査票②まとめ-1

			A社		B社						C社	E社				F社	
			病院A-1	病院A-2	病院B-1	病院B-3	病院B-4	病院B-5	病院B-6	病院B-7	病院C-1	病院E-1	病院E-2	病院E-3	病院E-4	病院F-1	病院F-2
カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①
医療事故 -転倒・転落	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	2	1	1	1	1	3	1	1	1	3	3	1	3	2	1
	1-002	床頭側に配置されたトイレ	2	3	1	1	1	3	3	1	3	1	1	1	1	3	3
	1-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	1	2	1	1	1	1	3	1	3	2	2	1	2	2	2
	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	3	2	2	2	3	1	1	2	3	3	3	3	3	3	1
	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1
	1-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	1	3	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2
	1-009	複数箇所に設置した個室トイレ	3	1	3	3	3	1	1	3	2	1	2	1	1	1	3
	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	3	1
	1-011	背板を設けたトイレ	3	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	1	3	3	3
	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	1	3	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	2
	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	3	2	1	2	3	3	1	2	3	1	1	1	1	3	1
	1-014	目立つ色の手すり	3	1	1	2	3	3	1	2	3	1	1	1	3	3	1
	1-015	エスカレータの手すり追加	1		1	2	3	1		2	1				3	3	3
	1-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ	3		3	3	3	3	1	3	1				1	3	3
	1-017	段の寸法が適切な階段	1	1	2	2	3	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1
	1-018	二段型の手すり	3	3	2	2	2	3	3	2	3	2	2	2	2	3	3
	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下	3	3	2	2	3	12		2	3	3	3	3	3	3	3
	1-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	3	3	3	3	2	3	3	3	1	2	2	2	2	3	3
	1-021	柔らかい床のプレイルーム		1	2	2	1			2	1	1	1	1	1	1	1
	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	3	3
	1-023	衝撃防止のためのカーペット	2	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3	1
	1-024	病室内の手すり	2	3	2	2	2	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3
	1-025	洗面台周囲に手すりを設置	2	3	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3
	1-026	身体を支えやすい形状の手すり	1	3	2	2	2	3	1	2	1	3	3	3	3	3	1
	1-027	途切れない手すりの配置	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1
	1-028	2か所で支えることができる手すり	2	2	2	2	2	2	3	2	2	1	1	1	1	3	2
	1-029	トイレへの移動を補助する手すり	2	3	1	1	2		3	1	2	3	3	3	3	2	3
	1-030	転落防止用のガラス	1	1	2	2	3	2	3	2	1	1		1	1	2	3
	1-031	転落防止用の屋上のガラス壁	3	3	2	2	3	2	3	2	2				3	3	3
	1-032	転落に備えたりし出しと植木	3	3	2	2	3	3	3	2	3	1	1	1	3	2	3
	1-033	病室窓の転落防止手すり	3	3	2	2	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3
	1-034	対応ユーザーを明示するサイン	3	2	2	2	2	1	3	2	1	1	1	1	1	3	3
	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け	3	3	2	2	3	2	3	2	1	3	3	3	1	3	3
	1-036	安全なレバーハンドル	1	1	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	3	3	1
	1-037	足掛かりとならない立ち上がり	1	1	2	2	3	3	1	2	2	1	1	1	1	1	1
	1-038	画像診断室等の扉の省略（床部分）非設置	1	1	2	2	3	2	1	2	1	2	2	2	1	3	2
	1-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1
医療事故 -感染	1-040	廊下を簡易に分離するビニールカーテン	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3
	1-041	救急外来の隔離待合		1	2	2	3	1		2	1	3	1	1	1	1	1
	1-042	外来の隔離診察室		1	2	2	3	1		2	1	2	1	1	1	1	1
	1-043	感染症患者のための動線計画	3	1	2	2	3	1		2	1	2	1	1	1	2	1
	1-044	ガラス張りのスタッフステーション			2	2	1	3	3	2	3	3	3	3	3	3	1
	1-045	NIUの個室化			3	3	3			3	2						3
	1-046	新生児の感染予防			3	3	3			3	3						2
	1-047	感染症専用エレベータ	3	3	3	3	3	3		3	3	3	3	3	3	3	3
	1-048	感染症対応病室		1	2	2	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1
	1-049	パーティションで区切られたICU病床	3		2	2	3	1		2	1	3	1	1	2	3	2
	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置	3	3	2	2	1	1	3	2	2	3	3	3	3	1	3
医療事故 -感染	1-051	空調環境の中央管理		1	2	2	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	2
	1-052	差圧計の設置		3	2	2	2	2	3	2	1	3	3	3	3	1	3
	1-053	病室の床付近からの排気		3	2	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3
	1-054	高性能フィルター	2	2	2	2	2	2	3	2	3			3	1	2	2
	1-055	除菌・脱臭システム	3	2	2	2	3	2	3	2	3	3	3	1	3	3	3
	1-056	床材の巻き上げ	2	1	2	2	1	2	1	2	2	1	1	1	1	2	2
	1-057	清掃が容易な仕上材	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	1-058	壁掛け式便器	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	1	1	1	3
	1-059	壁付け収納	1	2	2	2	3	1	2	2	1	2	2	2	2	1	1
	1-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2
	1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
	1-062	病棟のベッド洗浄スペース	3	3	2	2	3	3	3	2	1	3	3	3	3	3	3
	1-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画	1	1	2	2	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1
	1-064	スタッフステーション内の作業空間の清污分離	1	1	2	2	1	1	3	2	1	1	1	1	2	2	2
	1-065	汚物処理室の分散配置	1	1	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3
	1-067	パンデミックを想定した外来区画	3	3	3	3	3	3		3	2	1	3	3	3	1	1
	1-068	小児病棟での家族面会区画と面会用窓		1	2	2	3			2	3		2		3		2
	1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具	3	3	3	3	3	2	3	3	1	1	1	1	1	3	3
	1-070	全室個室化	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防止	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	1-073	PPEラックの病室内設置	1	3	2	2	3	3	3	2	1	1	1	1	3	3	3
	1-074	手洗いを促す工夫-1	3	1	2	2	3		1	2	2	3	3	3	3	3	3
	1-075	手洗いを促す工夫-2	2	2	2	2	3		1	2	2	1	1	1	1	3	3
	1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1
	1-077	肘まで洗える手洗い器	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2	1
	1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保	3	1	2	2	1	1	1								

調査票②まとめ-2

		H社	I社	J社	K社		L社		M社		N社		O社	P社	Q社		
		病院H-1	病院I-1	病院I-2	病院J-1	病院K-1	病院K-2	病院L-1	病院L-2	病院M-1	病院M-2	病院N-1	病院N-2	病院O-1	病院P-1	病院Q-1	
カテゴリー	No.	項目 (具体的な工夫)	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	
医療事故 -転倒・転落	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	2	3	3	1	2	2	1	1	3	2	2	1	3	3	
	1-002	床頭側に配置されたトイレ	3	3	2	2	3	3	2	3	2	3	3	3	3	3	
	1-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	1	3	2	2	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	
	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	3	2	1	3	3	2	3	3	3	2	3	3	1	2	1
	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1
	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
	1-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	3	1	3	1	2	3	1	1	3	3	3	3	1	2	2
	1-009	複数箇所に設置した個室トイレ	1	3	1	1	3	2	1	1	1	3	1	2	3	3	3
	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり	2	2	3	1	3	3	1	1	2	1	2	2	1	3	2
	1-011	背板を設けたトイレ	1	2	3	1	2	2	3	3	2	3	3	2	3	2	1
	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	1	2	3	3	2	3	1	1	2	2	3	3	1	3	3
	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	2	2	3	3	2	3	1	3	3	3	3	3	1	2	2
	1-014	目立つ色の手すり	3	3	1	3	2	3	2	2	3	3	3	3	3	3	1
	1-015	エスカレータの手すり追加	3				1	3	1	3	1	2	3		3	3	3
	1-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ	3				1	1	1	3	3	3	3		3	3	3
	1-017	段の寸法が適切な階段	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	1	1
	1-018	二段型の手すり	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	2	3
	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下	3	3	2	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3
	1-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	3	3	1	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3
	1-021	柔らかい床のブレイルーム	3	1	1	1	3	1	2	2	2	1	3	3	1	3	1
	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	3	1	1	3	3	3	3	3	2	1	3	3	1	3	3
	1-023	衝撃防止のためのカーペット	3	2	3	1	3	3	1	3	3	3	2	3	3	3	3
	1-024	病室内の手すり	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	1-025	洗面台周囲に手すりを設置	3	3	2	1	3	3	1	2	3	3	3	3	3	2	3
	1-026	身体を支えやすい形状の手すり	2	1	1	3	2	3	1	1	3	1	2	3	3	2	3
	1-027	途切れない手すりの配置	1	1	1	1	2	3	1	1	3	3	1	1	1	2	1
	1-028	2か所で支えることができる手すり	3	3	2	3	2	3	1	1	3	3	3	3	3	3	3
	1-029	トイレへの移動を補助する手すり	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	3	1	3	3
	1-030	転落防止用のガラス	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3
	1-031	転落防止用の屋上のガラス壁	3	3	2	3	2	1	3		1		3		3	3	3
	1-032	転落に備えたせり出しと植木	3	3	2	3	3	3	3	2					3	3	3
	1-033	病室窓の転落防止手すり	3	3	2	3	3	3	3	2	3	3	2	1	3	3	3
	1-034	対応ユーザーを明示するサイン	2	1	1	2	2	3	2	2	3	3	2	3	1	3	3
	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け	3	3	3	1	2	1	1	1	3	2	3	3	3	3	1
	1-036	安全なレバーハンドル	1	1	1	1	2	3	1	1	2	3	2	3	3	3	1
	1-037	足掛かりとならない立ち上がり	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	2	2	3	3	3
	1-038	画像診断室等の扉の指摺り（床部分）非設置	3	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	3	1
	1-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1
医療事故 -感染	1-040	廊下を簡易に分節するビニールカーテン	3		3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	
	1-041	救急外来の隔離待合	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	3	
	1-042	外来の隔離診察室	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	
	1-043	感染症患者のための動線計画	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	3	1	3	1	
	1-044	ガラス張りのスタッフステーション	2	3	1	3	2	3	1	3	3		3	3	3	3	
	1-045	NIUの個室化	3	3	3		3	3	3		2				3	2	
	1-046	新生児の感染予防	3	3	3	1	3	3	1		2				3	3	
	1-047	感染症専用エレベータ	3	3	1		3	3	2	3	3		3	1	3	1	
	1-048	感染症対応病室	2	1	1	1	3	1	1	3	2		3	1	1	1	
	1-049	パーティションで区切られたIOU病床	2	1	1	1	1	1	1	1	2	3			1	1	
医療事故 -感染	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置	3	1	2	1	1	3	2	3	2	3	3	3	2	3	
	1-051	空調環境の中央管理	1	1	1	1	1	3	2	1	2	1	1	2	1	2	
	1-052	差圧計の設置	3	1	1	1	2	3	2	3	2	3	3	3	1	3	
	1-053	病室の床付近からの排気	3	3	2	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	
	1-054	高性能フィルター	2	2	1	2	1	2	2	2	2	3	3	2	1	2	
	1-055	除菌・脱臭システム	3	3	2	3	2	3	2	3	3	3	3		3	3	
	1-056	床材の巻き上げ	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	
	1-057	清掃が容易な仕上材	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	
	1-058	壁掛け式便器	3	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	3	1	2	
	1-059	壁付き収納	3	3	2	1	2	2	2	3	3	3	3	2	1	2	
医療事故 -感染	1-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給	3	1	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2	3	
	1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	3	
	1-062	病棟のベッド洗浄スペース	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	1-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	1	
	1-064	スタッフステーション内の作業空間の清污分離	3	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3	3	2	
	1-065	汚物処理室の分散配置	3	2	1	1	2	1	1	3	3	3	1	3	1	2	
	1-067	パンデミックを想定した外来区画	3	1	2	3	2	2	1	3	1	3	3	3	3	2	
	1-068	小児病棟での家族面会用区画と面会用窓	3	3	3	3	3	1	1	3	3				3	3	
	1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具	2	2	2	1	2	2	1	3	2	1	3	3	3	3	
	1-070	全室個室化	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	1	3	
医療事故 -感染	1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防止	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室	3	3	1	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	
	1-073	PPEラックの病室内設置	3	1	2	3	1	1	1	1	1	1	3	3	1	2	
	1-074	手洗いを促す工夫-1	3	3	1	1	1	3	1	1	3	3	3	3	3	3	
	1-075	手洗いを促す工夫-2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	3	3	3	3	
	1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い	2	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	
	1-077	肘まで洗える手洗い器	1	2	2	2	2	1	1	2	2	1	2	2	2	2	
	1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保	2	1	1	1	1	1	1	3	2	3	3	3	3	1	
	1-079	人感センサーによる病室手洗い照明の点灯															

調査票②まとめ-3

			R社			S社		T社		U社	V社	項目ごと			
			病院R-1	病院R-2	病院R-3	病院S-1	病院S-2	病院T-1	病院T-2	病院U-1	病院V-1				
カテゴリ	No.	項目 (具体的な工夫)	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	質問①	平均値	1の数	2の数	3の数
医療事故 -転倒・転落	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	3	2		2	2	2	2	2	3	1.97	13	13	12
	1-002	床頭側に配置されたトイレ	3	3		3	3	2	2	3	2	2.37	8	8	22
	1-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	1	2		1	2	2	3	1	3	2.08	12	11	15
	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	1	2		3	3	2	3	2	3	2.34	7	11	20
	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	1	1		3	1	1	1	1	1	1.18	32	5	1
	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	3	3		3	3	3	3	3	3	3.00	0	0	38
	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	3	3		3	1	1	1	1	3	1.29	31	3	4
	1-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	1	3		2	2	2	3	1	3	2.00	15	8	15
	1-009	複数箇所に設置した個室トイレ	1	2	1	3	2	3	3	1	1	1.92	18	6	15
	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり	1	1	3	1	2	2	2	1	2	1.69	20	11	8
	1-011	背板を設けたトイレ	1	1	1	3	2	3	3	1	2	1.95	16	9	14
	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	1	3	3	2	2	1	1	2	3	2.05	14	9	16
	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	1	1	3	3	3	3	3	3		2.14	11	8	16
	1-014	目立つ色の手すり	3	3		3	3	1	1	3	1	2.24	12	5	21
	1-015	エスカレータの手すり追加				1		3	3	3		2.24	8	3	14
	1-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ				3		3	3	3		2.52	6	0	19
	1-017	段の寸法が適切な階段	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1.31	30	6	3
	1-018	二段型の手すり	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2.69	0	12	27
	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下	3	3		3	3	2	3	1	3	3.00	2	5	29
	1-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	3	3	3	2	2	3	3	1	1	2.56	5	7	27
	1-021	柔らかい床のブレイルーム				3	1	2	3	3	1	1.60	18	6	6
	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	3	3	3	3	3	3	3	3	1	2.56	8	1	30
	1-023	衝撃防止のためのカーペット	3	3	3	3	3	1	1	3	3	2.46	5	11	23
	1-024	病室内の手すり	3	3		3	3	3	3	3	2	2.79	0	8	30
	1-025	洗面台周囲に手すりを設置	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2.59	2	12	25
	1-026	身体を支えやすい形状の手すり	3	2	3	3	3	2	3	2	3	2.26	9	11	19
	1-027	途切れない手すりの配置	1	1	3	1	1	1	2	3	1	1.56	22	12	5
	1-028	2か所で支えることができる手すり	1	1	3	3	2	3	3	2	3	2.26	8	13	18
	1-029	トイレへの移動を補助する手すり	3	2		3	3	3	3	2	2	2.49	6	7	24
	1-030	転落防止用のガラス	3	3	1	2	1	3	3	3	1	1.81	19	6	12
	1-031	転落防止用の屋上のガラス壁	3	3		3	2	3	3	3		2.63	2	8	22
	1-032	転落に備えたり出しと植木	3	3		3		3	3	3	3	2.64	3	6	24
	1-033	病室窓の転落防止手すり	1	3		3	3	1	1	3	3	2.61	4	7	27
	1-034	対応ユーザーを明示するサイン	1	1	3	1	1	3	3	1	1	1.95	15	11	13
	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け	3	3	3	3	1	2	3	2	3	2.38	8	8	23
	1-036	安全なレバーハンドル	1	1	1	1	1	1	2	3	1	1.62	23	8	8
	1-037	足掛かりとならない立ち上がり	1	1	3	3	1	2	2	1	1	1.74	20	8	10
	1-038	画像診断室等の扉の音響リ（床部分）非設置	2	2	1	1	1	2	2	1	1	1.59	20	15	4
	1-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1.18	32	7	0
医療事故 -感染	1-040	廊下を簡易に分節するビニールカーテン	3	3	3	3	1	3	3	3	3	2.89	1	2	35
	1-041	救急外来の隔離待合	3	1		3	3	2	3	3	1	1.72	21	4	11
	1-042	外来の隔離診察室	1	1		1	1	1	2	3	1	1.39	26	6	4
	1-043	感染症患者のための動線計画	3	1		1	1	1	1	2	1	1.54	22	10	5
	1-044	ガラス張りのスタッフステーション	3	3		3		3	2	3	3	2.59	4	6	24
	1-045	NIUの個室化				3		3	3	3		2.85	0	3	17
	1-046	新生児の感染予防				3		2	3	3		2.67	2	3	16
	1-047	感染症専用エレベータ	3	3		3		3	3	3		2.79	3	1	29
	1-048	感染症対応病室	2	1		1	1	2	3	3	1	1.53	23	7	6
	1-049	パーティションで区切られたICU病床		1		1		1	3	3	1	1.81	15	7	9
	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置	3	2		3	3	3	3	1	3	2.39	7	9	22
	1-051	空調環境の中央管理	3	2	1	2	1	2	3	2	1	1.87	15	13	10
	1-052	差圧計の設置	3	2		3	3	3	3	3	1	2.35	7	10	20
	1-053	病室の床付近からの排気	3	3		3	3	3	3	3	2	2.81	0	7	30
	1-054	高性能フィルター	3	2		2	2	3	3	3	2	2.17	4	22	10
	1-055	除菌・脱臭システム	2	2	1	3	3	3	3	3	3	2.63	2	10	26
	1-056	床材の巻き上げ	2	2	1	2	1	2	2	2	2	1.67	13	26	0
	1-057	清掃が容易な仕上材	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1.10	35	4	0
	1-058	壁掛け式便器	2	2	1	3	1	3	3	3	1	1.64	24	5	10
	1-059	壁付き収納	2	2		3	2	3	3	3	3	2.16	7	18	13
	1-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1.82	9	27	2
	1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1.21	34	2	3
	1-062	病棟のベッド洗浄スペース	3	3		3	2	3	3	3		2.81	1	5	31
	1-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分節する配置計画	1	1		1	1	2	2	2	1	1.34	28	7	3
	1-064	スタッフステーション内の作業空間の清污分離	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1.49	24	11	4
	1-065	汚物処理室の分散配置	2	3		3	1	2	3	3	3	2.13	14	5	19
	1-067	パンデミックを想定した外来区画	3	3		1	1	3	3	3	1	2.38	9	5	23
	1-068	小児病棟での家族面会区画と面会用窓				3		1	3	3		2.46	4	5	15
	1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具	1	2	1	1	1	2	2	3	1	2.08	13	10	16
	1-070	全室個室化	3	3		3	2	3	3	3	3	2.89	1	2	35
	1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防止	3	3		3	3	1	2	3	3	2.84	2	2	33
	1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室	3	3		3	3	3	3	3		2.86	2	1	34
	1-073	PPEラックの病室内設置	3	2		2	1	3	3	1	3	1.97	16	7	15
	1-074	手洗いを促す工夫-1	2	2		1	2	2	2	3		2.31	8	9	19
	1-075	手洗いを促す工夫-2	2	2		1	1	2	2	3	1	1.76	17	12	8
	1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1.18	35	1	3
	1-077	肘まで洗える手洗い器	2	2	3	1	2	2	2	2	1	1.77	10	28	1
	1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保	2	1	3	1	1	2	2	3	1	1.82	19	8	12
	1-079	人感センサーによる病室手洗い照明の点灯	3	3		3	3	3	3	3	1	2.53	8	2	28
1-080	埃だまりがないペーパータオルホルダー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2.92	1	1	37	
1-081	壁埋め込み型手指消毒ホルダー	3	3		3	3	3	3	1		2.38	9	5	23	
1-082	一体化された手指消毒ホルダーと使用手順パネル	3	3	3	3	1	3	3	1	3	2.56	6	5	28	
1-083	除染装置のある救急入口		1		3	3	3	3	3	1	2.28	10	6	20	
1-084	救急入口の除染装置		1		3	3	3	3	3	1	2.28	11	4	21	
1-085	必要な感染予防策を表示する病室前モニター	3	3		3	3	3	3	3	2	2.71	3	5	30	
1-086	病室前に感染予防策の集約	2	2		3	1	3	3	3	1	2.11	13	8	17	
1-087	清潔区域の床面サイン	3	3		3	3	3	3	3	3	2.74	2	6	30	
1-088															

3. 分析

3. 分析

3. 1 手法や工夫の採用状況

採用状況：

調査票①の質問①、調査対象とした「事例集」の手法や工夫 103 項目を、医療施設の普段の設計で採用しているかどうか、という質問に対して計 2,466 の回答があった。

その内、「1. 基本的に採用する」が 713 (28.9%)、「2. 病院の特性や施主との折衝の中で採用を決める」が 1,400 (56.8%)、1 と 2 を合わせた回答数は 2,113 (85.7%) という結果であった (表 06)。

質問① の回答	カテゴリー								計1		計2	
	転倒・転落		感染		患者の把握		誤接続					
1. 基本的に採用する	300	32.1%	305	26.1%	66	22.9%	41	56.9%	713	28.9%	2,113	85.7%
2. 病院の特性や施主との折衝の中で採否を決める	506	54.2%	687	58.8%	179	62.2%	26	36.1%	1,400	56.8%		
3. 基本的に採用しない	128	13.7%	177	15.1%	43	14.9%	5	6.9%	353	14.3%	353	14.3%
計	934	100.0%	1,169	100.0%	288	100.0%	72	100.0%	2,466	100.0%		

表 06 - 調査票①質問①の回答数と比率

カテゴリー別では、「1. 基本的に採用する」と答えた数は「転倒・転落」で 300 (32.1%)、「感染」で 305 (26.1%)、「患者の把握」で 66 (22.9%)、「誤接続」で 41 (56.9%) であった (同表 06)。

採用しない理由：

調査票①の質問②、採用しない理由の回答項目は、Hの「その他」を除くと、設計者自身の判断による理由（A～E）のグループと、設計者以外の判断等による理由（F及びG）のグループの二つに大きく分けられる。各々の回答数の比率は、Hを除いた回答数を100%とした場合、前者の「設計者の判断による理由グループ」は50.7%、後者の「設計者以外の判断による理由グループ」は49.3%とほぼ同率であった。

前者の「設計者の判断による理由（A～E）グループ」では、「A. コストがかかりすぎる」と「B. 効果が期待できない／効果が明確ではない」の二つでそのほぼ半数を占めており、とくに「感染」のカテゴリーではAのコストの問題で採用しないという回答が多くなっている。

また、後者の「設計者自身の判断以外の理由（F、G）グループ」では、F「クライアントからの要望がない」が23.7%、G「該当するケースが少ない」が19.4%であった（表07）。

採用しない理由	カテゴリー(左：回答数／右：比率%)								計1		計2	
	転倒・転落		感染		患者の把握		誤接続					
A. コストがかかりすぎる	19	11.7%	33	14.1%	2	3.1%	0	0.0%	54	11.5%	208	50.7%
B. 効果が期待できない/効果が明確ではない	17	10.4%	29	12.4%	10	15.4%	0	0.0%	56	12.0%		
C. スペースが確保しにくい	17	10.4%	15	6.4%	7	10.8%	0	0.0%	39	8.3%		
D. 意匠上問題がある	5	3.1%	8	3.4%	3	4.6%	0	0.0%	16	3.4%		
E. 別の機能上の問題が起きる可能性がある	17	10.4%	20	8.5%	6	9.2%	0	0.0%	43	9.2%		
F. クライアントからの要望がない	33	20.2%	55	23.5%	20	30.8%	3	50.0%	111	23.7%	202	49.3%
G. 該当するケースが少ない	28	17.2%	53	22.6%	9	13.8%	1	16.7%	91	19.4%		
H. その他	27	16.6%	21	9.0%	8	12.3%	2	33.3%	58	12.4%		
計	163	100.0%	234	100.0%	65	100.0%	6	100.0%	468	100.0%		

表 07 - 採用しない理由（調査票①質問②）

3. 2 項目の「採用度」

「採用度」:

「事例集」から抽出した 103 項目の設計上の手法や工夫がどの程度実際の設計に採用されているかを項目ごとに点数化し比較するため「採用度」という指数を設定した。

「採用度」とは、回答に対し、「1. 基本的に採用する」を 1.0 点、「2. 病院の特性や施主との折衝の中で採用を決める」を 0.5 点、「3. 基本的に採用しない」を－（マイナス）1.0 点とし、項目ごとに算出した平均値のことを言う。よって「採用度」が大きいほど設計者が実際に採用する度合いが高い項目であると言える。

結果、最も「採用度」が高い項目で 24.0 点、最も低い項目で－12.0 点、また、「採用度」の全項目平均値は 11.5 点であった。

カテゴリーごとでは、4 つのカテゴリーの「採用度」の各々の平均は 9.0～16.3 点だが、サンプル数の少ない「誤接続」のカテゴリーを除くと 9.0～10.9 点の範囲になっており、3 つのカテゴリー間の「採用度」に大きな差はなかった（表 08）。

カテゴリーNo.	項目	「採用度」	採用しない理由（回答数）							
		採用度	A コスト	B 効果	C スペース	D 意匠上	E 機能上	F 要望なし	G 該当なし	H その他
転倒・転落	1-017	段の寸法が適切な階段	22.5							
	1-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	22.5							
	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	22.0				1			
	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	20.5							
	1-038	画像診断室等の扉の沓摺り（床部分）非設置	20.5							
	1-021	柔らかい床のブレイルーム	20.0							1
	1-036	安全なレバーハンドル	19.0					1		
	1-027	途切れない手すりの配置	18.5							
	1-037	足掛かりとまらない立ち上がり	17.0	1					1	1
	1-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	16.0	1						
	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり	15.5							
	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	14.0							
	1-034	対応ユーザーを明示するサイン	14.0					1		
	1-011	背板を設けたトイレ	13.5				1			
	1-026	身体を支えやすい形状の手すり	13.0	1	1					1
	1-009	複数箇所に設置した個室トイレ	12.5	3	2			2	1	
	1-028	2か所で支えることができる手すり	11.5		1			1		
	1-029	トイレへの移動を補助する手すり	11.5		1			1		
	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け	11.5				1			1
	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	11.0	1	1	1		1		1
	1-030	転落防止用のガラス	11.0						3	
	1-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ	10.5		2			1	2	
	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	9.0		1			2		
	1-014	目立つ色の手すり	9.0	1	1		2	1		1
	1-031	転落防止用の屋上のガラス壁	8.0	3				1	2	
	1-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	7.5		4		1	1	1	1
	1-018	二段型の手すり	7.5		2			1		
	1-024	病室内の手すり	7.5		2					
	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下	6.5	1			1			2
	1-015	エスカレータの手すり追加	6.0	2	2			2	2	1
	1-025	洗面台周囲に手すりを設置	5.5		1	1				1
	1-002	床頭側に配置されたトイレ	4.0		1	3		2		1
	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	3.5	1	1			4	2	1
	1-023	衝撃防止のためのカーペット	3.5					4	2	1
	1-033	病室窓の転落防止手すり	3.5		2		2		1	4
	1-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	3.0	1				1	2	2
	1-032	転落に備えたせり出しと植木	1.0					2	1	4
	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	-2.0		2		1	1	1	4
	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	-6.0	4		1			7	6
「転倒・転落」の採用度平均値		10.9								
患者の把握	1-093	スタッフステーションに面した重症室	21.0							
	1-092	患者を観察しやすいスタッフステーション	20.0							
	1-095	集中治療病棟の患者監視モニター	14.0	1					1	
	1-096	集中治療室における病室前の看護拠点	12.0						2	
	1-099	病室扉へのガラス窓の接地	12.0				1	2		
	1-097	スタッフステーション内の患者観察スペース	11.0				1			
	1-101	患者観察しやすい病室内の水回りレイアウト	11.0		1	1		1		1
	1-091	医療看護支援ピクトグラム	7.5		1			3	1	1
	1-094	看護拠点の分散配置	6.5	1	3	1		1	3	
	1-098	病室前廊下の看護拠点	4.5			1		1	2	1
	1-089	外部からメンテナンス可能な配管	4.5		1	1	1	1		3
	1-100	スタッフステーションから見やすいトイレの扉	1.5			3			3	2
	1-090	床に書かれたベッド番号	-8.5		4		2	1	6	1
「患者の把握」の採用度平均値		9.0								

カテゴリーNo.	項目	「採用度」	採用しない理由（回答数）							
		採用度	A コスト	B 効果	C スペース	D 意匠上	E 機能上	F 要望なし	G 該当なし	H その他
感染	1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	24.0							
	1-057	清掃が容易な仕上材	23.0							
	1-064	スタッフステーション内の作業空間の清污分離	21.5							
	1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い	21.5							1
	1-063	医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画	19.5							
	1-056	床材の巻き上げ	18.5	1						1
	1-077	肘まで洗える手洗い器	17.0	1						
	1-043	感染症患者のための動線計画	16.5							
	1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具	16.5							1
	1-041	救急外来の隔離待合	16.0							1
	1-042	外来の隔離診察室	16.0							1
	1-048	感染症対応病室	14.0							1
	1-049	パーティションで区切られたICU病床	14.0							1
	1-058	壁掛け式便器	14.0	2				2		1
	1-060	床清掃しやすい天井からの電源・医療ガス供給	13.0							1
	1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保	13.0		1	1		1	1	1
	1-075	手洗いを促す工夫-2	12.5		1		1			1
	1-046	新生児の感染予防	12.0						1	1
	1-051	空調環境の中央管理	12.0							1
	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置	11.5							1
	1-065	汚物処理室の分散配置	11.5	1		1		1	1	
	1-073	PPEラックの病室内設置	11.5						1	1
	1-081	壁埋め込み型手指消毒ホルダー	11.5							1
	1-067	パンデミックを想定した外来区画	11.0			1			2	
	1-084	救急入口の除染装置	11.0	1					1	2
	1-059	壁付き収納	9.5	1	1			1	1	1
	1-074	手洗いを促す工夫-1	9.5		1	1	1			1
	1-068	小児病棟での家族面会用区画と面会用窓	9.0						1	1
	1-070	全室個室化	9.0	1					1	1
	1-045	NICUの個室化	8.5			1				2
	1-052	差圧計の設置	8.5						2	1
	1-054	高性能フィルター	8.0	1					2	1
	1-044	ガラス張りのスタッフステーション	6.0		1			1	1	5
	1-055	除菌・脱臭システム	6.0	3	2				1	
	1-079	人感センサーによる病室手洗い照明の点灯	6.0					2	1	1
	1-083	除染装置のある救急入口	6.0	2		1			2	4
	1-047	感染症専用エレベータ	5.0	1		1			2	4
	1-086	病室前に感染予防策の集約	4.0	1	1		1		2	1
	1-085	必要な感染予防対策を表示する病室前モニター	3.5	2					3	2
	1-087	清潔区域の床面サイン	3.5					1	3	1
	1-053	病室の床付近からの排気	3.0	3	1				2	2
	1-080	埃だまりがないペーパータオルホルダー	2.5		1			3	1	1
	1-082	一体化された手指消毒ホルダーと使用手順パネル	2.5		1				3	1
	1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防止	1.5	2	1	3		1	1	1
	1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室	1.5	1	3		1		1	3
	1-062	病棟のベッド洗浄スペース	-6.0	3	1	5		1	7	2
	1-040	廊下を簡易に分節するビニールカーテン	-10.5		5		4	6	6	2
	1-088	殺菌性のある銅の取っ手	-12.0	6	8				5	1
「感染」の採用度平均値		9.7								
誤接続	1-102	コンセントの誤接続防止	21.0							
	1-104	各種ガスの取り出し口の工夫	16.0						1	1
	1-103	医療ガスのJIS規格と合わせたフレームカラー	12.0						2	1
「誤接続」の採用度平均値		16.3								
全カテゴリーの採用度平均値		11.5								

表 08 各項目の「採用度」と採用しない理由

「採用度ランキングシート」:

項目ごとの「採用度」により各項目のランク付けを行った（表 09）。

また、調査票①の質問②で聞いた「採用されない理由」についても併せて項目ごとに整理し、「採用度」に基づくランキングシート（「採用度ランキングシート」）を作成した（37 ページ）。

カテゴリー	No.	項目	採用度	全体 順位
感染	1-061	埃だまりをなくす天井カーテンレール	24.0	1
感染	1-057	清掃が容易な仕上材	23.0	2
転倒・転落	1-017	段の寸法が適切な階段	22.5	3
転倒・転落	1-039	立位でも車いすでも アクセスしやすいカウンター	22.5	3
転倒・転落	1-005	配置を工夫したベッド周りのコンセント	22.0	5
感染	1-064	スタッフステーション内の作業空間の 清污分離	21.5	6
感染	1-076	オーバーフローを閉鎖した手洗い	21.5	6
患者の把握	1-093	スタッフステーションに面した重症室	21.0	8
誤接続	1-102	コンセントの誤接続防止	21.0	8
転倒・転落	1-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	20.5	10
転倒・転落	1-038	画像診断室等の扉の沓摺り（床部分） 非設置	20.5	10
転倒・転落	1-021	柔らかい床のブレイルーム	20.0	12
患者の把握	1-092	患者を観察しやすいスタッフステー ション	20.0	12
感染	1-063	医療用と一般用のエレベータを 完全に分離する配置計画	19.5	14
転倒・転落	1-036	安全なレバーハンドル	19.0	15
転倒・転落	1-027	途切れない手すりの配置	18.5	16
感染	1-056	床材の巻き上げ	18.5	16
転倒・転落	1-037	足掛かりとならない立ち上がり	17.0	18
感染	1-077	肘まで洗える手洗い器	17.0	18
感染	1-043	感染症患者のための動線計画	16.5	20
感染	1-069	埃だまりをつくらないデザインの家具	16.5	20
転倒・転落	1-008	車いすでの利用や介助が しやすい個室病室のトイレ	16.0	22
感染	1-041	救急外来の隔離待合	16.0	22
感染	1-042	外来の隔離診察室	16.0	22
誤接続	1-104	各種ガスの取り出し口の工夫	16.0	22
転倒・転落	1-010	肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器 まわり	15.5	26
転倒・転落	1-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	14.0	27
転倒・転落	1-034	対応ユーザーを明示するサイン	14.0	27
患者の把握	1-095	集中治療病棟の患者監視モニター	14.0	27
感染	1-048	感染症対応病室	14.0	27
感染	1-049	パーティションで区切られたICU病床	14.0	27
感染	1-058	壁掛け式便器	14.0	27
転倒・転落	1-011	背板を設けたトイレ	13.5	33
転倒・転落	1-026	身体を支えやすい形状の手すり	13.0	34
感染	1-060	床清掃しやすい 天井からの電源・医療ガス供給	13.0	34
感染	1-078	手洗いと壁との間の隙間を確保	13.0	34
転倒・転落	1-009	複数箇所設置した個室トイレ	12.5	37
感染	1-075	手洗いを促す工夫-2	12.5	37
患者の把握	1-096	集中治療室における病室前の看護拠点	12.0	39
患者の把握	1-099	病室扉へのガラス窓の設置	12.0	39
感染	1-046	新生児の感染予防	12.0	39
感染	1-051	空調環境の中央管理	12.0	39
誤接続	1-103	医療ガスのJIS規格と合わせた フレームカラー	12.0	39
転倒・転落	1-028	2か所で支えることができる手すり	11.5	44
転倒・転落	1-029	トイレへの移動を補助する手すり	11.5	44
転倒・転落	1-035	転倒リスクを防止する細やかな配慮： 杖掛け	11.5	44
感染	1-050	飛沫感染防止のためにベッド間に家具 を設置	11.5	44
感染	1-065	汚物処理室の分散配置	11.5	44
感染	1-073	PPEラックの病室内設置	11.5	44
感染	1-081	壁埋め込み型手指消毒ホルダー	11.5	44
転倒・転落	1-001	ベッドからのアクセスを考慮した 水まわり設備	11.0	51
転倒・転落	1-030	転落防止用のガラス	11.0	51

カテゴリー	No.	項目	採用度	全体 順位
患者の把握	1-097	スタッフステーション内の患者観察ス ペース	11.0	51
患者の把握	1-101	患者観察しやすい病室内の水回りレイ アウト	11.0	51
感染	1-067	パンデミックを想定した外来区画	11.0	51
感染	1-084	救急入口の除染装置	11.0	51
転倒・転落	1-016	乗降部の平らな部分を長くとした エスカレータ	10.5	57
感染	1-059	壁付き収納	9.5	58
感染	1-074	手洗いを促す工夫-1	9.5	58
転倒・転落	1-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	9.0	60
転倒・転落	1-014	目立つ色の手すり	9.0	60
感染	1-068	小児病棟での家族面会用区画と面会用 窓	9.0	60
感染	1-070	全室個室化	9.0	60
感染	1-045	NICUの個室化	8.5	64
感染	1-052	差圧計の設置	8.5	64
転倒・転落	1-031	転落防止用の屋上のガラス壁	8.0	66
感染	1-054	高性能フィルター	8.0	66
転倒・転落	1-003	病室内の不要な車いすを 収納するためのスペース	7.5	68
転倒・転落	1-018	二段型の手すり	7.5	68
転倒・転落	1-024	病室内の手すり	7.5	68
患者の把握	1-091	医療看護支援ピクトグラム	7.5	68
転倒・転落	1-019	休憩用ベンチを設けた廊下	6.5	72
患者の把握	1-094	看護拠点の分散配置	6.5	72
転倒・転落	1-015	エスカレータの手すり追加	6.0	74
感染	1-044	ガラス張りのスタッフステーション	6.0	74
感染	1-055	除菌・脱臭システム	6.0	74
感染	1-079	人感センサーによる病室手洗い照明の 点灯	6.0	74
感染	1-083	除染装置のある救急入口	6.0	74
転倒・転落	1-025	洗面台周囲に手すりを設置	5.5	79
感染	1-047	感染症専用エレベータ	5.0	80
患者の把握	1-098	病室前廊下の看護拠点	4.5	81
患者の把握	1-089	外部からメンテナンス可能な配管	4.5	81
転倒・転落	1-002	床頭側に配置されたトイレ	4.0	83
感染	1-086	病室前に感染予防策の集約	4.0	83
転倒・転落	1-004	ベッドの壁寄せ配置が可能な コンソールの配置	3.5	85
転倒・転落	1-023	衝撃防止のためのカーペット	3.5	85
転倒・転落	1-033	病室窓の転落防止手すり	3.5	85
感染	1-085	必要な感染予防対策を表示する 病室前モニター	3.5	85
感染	1-087	清潔区域の床面サイン	3.5	85
転倒・転落	1-020	患者の身体状況に合わせ 座面の高さを変えた椅子	3.0	90
感染	1-053	病室の床付近からの排気	3.0	90
感染	1-080	埃だまりがないペーパータオルホル ダー	2.5	92
感染	1-082	一体化された手指消毒ホルダーと 使用手順パネル	2.5	92
患者の把握	1-100	スタッフステーションから見やすい トイレの扉	1.5	94
感染	1-071	床頭をずらすことによる飛沫感染の防 止	1.5	94
感染	1-072	可動壁の廊下区画による簡易前室	1.5	94
転倒・転落	1-032	転落に備えたせり出しと植木	1.0	97
転倒・転落	1-022	風除室の床埋め込み型玄関マット	-2.0	98
転倒・転落	1-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフ ト	-6.0	99
感染	1-062	病棟のベッド洗浄スペース	-6.0	99
患者の把握	1-090	床に書かれたベッド番号	-8.5	101
感染	1-040	廊下を簡易に分節するビニールカーテ ン	-10.5	102
感染	1-088	殺菌性のある銅の取っ手	-12.0	103

表 09 「採用度」による項目のランキング

3. 3 病床タイプと採用状況

タイプによる「採用度」の違い：

調査票②で回答を得た病院は全部で 41 施設であった。各施設の「事例集」103 項目の採用状況は表 10（28 ページ）の通りである。

41 施設はその病床タイプから、一般病床を中心とする病院（以下、一般病院）38 施設と、療養病床を中心とする病院（以下、療養病院）3 施設とに分けられる。

ここでは「事例集」103 項目の「採用度」が、病院の病床タイプにより異なるかどうかの確認のため、4 つのカテゴリーごとに「採用度」の比較を行った。その結果、「採用度」は、「転倒・転落」及び「感染」カテゴリーでは療養病院が高く、「患者の把握」及び「誤接続」のカテゴリーでは一般病院が高いという結果となった（表 11）。

		一般病院	療養病院
カテゴリー	転倒・転落	-0.28	0.87
	感染	-1.56	0.10
	患者の把握	2.08	0.07
	誤接続	21.33	0.01
全項目		0.05	0.39

表 11 病床タイプによる「採用度」の比較

※：サンプル数による補正後

カテゴリー	No.	項目	施設																																											
			A-1	A-2	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	C-1	C-2	D-1	E-1	E-2	E-3	E-4	F-1	F-2	H-1	I-1	I-2	J-1	J-2	K-2	K-1	L-1	L-2	M-1	M-2	N-1	N-2	O-1	P-1	Q-1	R-1	R-2	S-1	S-2	T-1	T-2	U-1	V-1			
医療事故 -転倒・転落	I-001	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備	2	1	1	1	1	3	1	1	1	3	3	3	1	3	2	1	2	3	3	1	2	1	2	2	1	1	3	3	2	2	1	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	
	I-002	床頭側に設置されたトイレ	2	3	1	1	1	3	3	1	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2	2	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	2	3	
	I-003	病室内の不要な車いすを収納するためのスペース	1	2	1	1	1	1	3	3	3	2	2	1	2	2	2	2	1	3	2	2	2	2	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1	2	1	2	2	3	1	3		
	I-004	ベッドの壁寄せ配置が可能なコンソールの配置	3	2	2	2	2	3	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	1	3	2	1	3	3	3	2	3	2	3	3	2	3	3	3	3	1	2	1	2	3	2	3	2	3		
	I-005	配置を工夫したベッド周りのコンソート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	3	1	1	1	1	1			
	I-006	ベッドサイドに設置された移乗用リフト	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			
	I-007	病室に設置された常夜灯や足元灯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	3	2	3	1	1	1	3			
	I-008	車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	2	2	3	1	3	1	1	2	3	3	1	1	3	3	3	3	3	1	2	2	1	3	2	2	3	1	3		
	I-009	複数箇所に設置した個室トイレ	3	3	1	3	3	3	1	1	3	2	2	1	1	2	1	1	3	1	3	1	1	1	3	2	1	1	1	3	1	2	3	3	3	1	2	3	2	3	2	3	3	1	1	
	I-010	肘掛け手すりや縦衝材を付属した便器まわり	3	1	1	1	1	1	3	1	3	1	1	3	1	1	1	2	3	1	2	2	3	1	1	3	3	1	1	2	1	2	2	1	3	2	1	1	1	2	2	2	1	2		
	I-011	背板を設けたトイレ	3	1	1	1	1	1	3	1	2	2	1	1	1	1	3	3	3	1	2	3	3	1	2	2	3	3	2	3	3	2	3	2	3	2	1	1	1	3	2	2	3	1	2	
	I-012	排泄中の座位保持をたすける手すり	1	3	1	1	1	1	1	1	2	2	1	3	3	3	3	3	2	1	2	3	3	3	2	3	3	1	1	2	2	3	3	1	3	3	1	3	2	2	1	1	2	3		
	I-013	左右どちらの麻痺にも対応できる浴室	3	2	1	2	3	1	2	3	3	3	3	1	1	1	1	3	1	2	2	3	3	3	2	3	1	3	3	3	3	3	3	1	2	2	1	1	3	3	3	3	3	3		
	I-014	目立つ色の手すり	3	1	1	2	3	3	1	2	3	3	3	3	1	1	1	3	3	1	3	3	1	3	3	2	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	1	
	I-015	エスカレータの手すり追加	1	1	2	3	1	2	1	1	3						3	3	3	3						1	3	1	3	1	2	3		3	3	3		1		3	3	3	3			
	I-016	乗降部の平らな部分を長くとしたエスカレータ			3	3	3	3	1	3	1	1	3				1	3	3	3					1	1	1	3	3	3	3	3		3	3	3			3	3	3	3	3			
	I-017	段の寸法が適切な階段	1	1	2	2	3	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	1	1			
	I-018	二段型の手すり	3	3	2	2	3	3	3	2	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	
	I-019	休憩用ベンチを設けた廊下	3	3	2	2	3	12	2	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	1	3		
	I-020	患者の身体状況に合わせ座面の高さを変えた椅子	3	3	3	3	2	3	3	1	1	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	1	1		
	I-021	柔らかい床のプレイルーム		1	2	2	1		2	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	1	2	2	1	3	2	1	3	1	3	1	3	1	3	1	2	3	3	1		
	I-022	風除室の床埋め込み玄関マット	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	3	3	3	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	
	I-023	衝撃防止のためのカーペット	2	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	3	3	3	1	3	2	3	1	1	3	3	3	1	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	
	I-024	病室内の手すり	2	3	2	2	2	3	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	
	I-025	洗面台周囲に手すりを設置	2	3	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	1	3	3	3	1	2	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	3	3	3	3	2		
	I-026	身体を支えやすい形状の手すり	1	3	2	2	2	3	1	2	1	1	3	3	3	3	3	3	1	2	1	1	3	3	2	3	1	1	3	1	2	3	3	3	2	3	3	2	3	3	2	3	2	3		
	I-027	適切な手すりの配置	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	3	1	1	1	3	3	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	3	1		
	I-028	2か所で支えることができる手すり	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	3	1	1	1	1	3	2	3	3	2	3	3	2	3	3	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	2	3	3	2	3	
	I-029	トイレへの移動を補助する手すり	3	3	1	1	2	3	1	2	2	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	3	3	3	1	3	2	3	3	3	3	2	2		
	I-030	転落防止用のガラス	1	1	2	2	3	2	3	2	1	1	3	1			1	1	2	3	3	3	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	3	3	2	1	3	3	3	1		
	I-031	転落防止用の壁上のガラス壁	3	3	2	2	3	2	3	2	2	2	3				3	3	3	3	2	3	3	2	3	2	1	3		1		3		3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3		
	I-032	転落に備えたり出しと補木	3	3	2	2	3	3	3	2	3	3	3	1	1	1	3	2	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	2	3	3	2		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
I-033	病室窓の転落防止手すり	3	3	2	2	3	3	2	2	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	1	3	3	3	1	3	3	3	1	3	3			
I-034	対応ユーザーを明示するサイン	3	2	2	2	2	1	3	2	1	1	3	1	1	1	1	3	2	1	1	2	2	2	2	3	2	2	3	3	2	3	1	3	3	1	1	1	1	1	3	3	1	1			
I-035	転倒リスクを防止する欄やかな配慮：杖掛け	3	3	2	2	3	2	3	2	1	1	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	1	2	1	1	1	3	2	3	3	3	3	3	3	3	1	2	3	2	3	2	3			
I-036	安全なレバーハンドル	1	1	2	2	2	1	1	2	1	1	3	1	1	1	1	3	3	1	1	1	1	1	2	3	1	1	2	3	2	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	1		
I-037	足掛かりとなる低い立ち上がり	1	2	2	3	3	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	3	2	2	3	3	3	1	1	3	1	2	2	1	3	1			
I-038	画像診断室等の扉の音割り（床部分）非設置	1	1	2	2	3	2	1	2	1	1	1	2	2	2	1	3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	1			
I-039	立位でも車いすでもアクセスしやすいカウンター	1	2	1	1	2	1	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1			
医療事故 -感染	I-040	廊下を簡易に分断するビニールカーテン	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3			
	I-041	救急外来の隔離待合	1	2	3	3	3	1	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	3	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	3	1	3	2	3	3	3				
	I-042	外来の隔離診察室	1	2	2	3	1	2	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	2	3	1			
	I-043	感染症患者のための動線計画	3	1	2	2	3	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	2	1	1	3	1	1	1	1	2	2	1	3	1	3	1	2	3	1	1	1	1	1	2	1	1			
	I-044	ガラス張りのスタッフステーション	2	2	1	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3																															

表 10 調査票②質問① 結果一覧

3. 4 その他の手法や工夫

その他の手法や工夫：

調査票②では、回答があった施設の設計において、「事例集」の 103 項目以外に実際に採用した安全・安心のための設計上の手法や工夫があるかどうかを尋ね、ある場合にはその内容を記入することとした。結果、41 施設中 30 施設の設計において「事例集」103 項目以外の手法や工夫を採用しており、その数は 90 項目であった。

その 90 項目をカテゴリー別に見ると、「転倒・転落」に関する項目が 23 項目、「感染」に関する項目が 35 項目、「患者の把握」に関する項目が 23 項目、「誤接続」に関する項目が 3 項目、どのカテゴリーにも属さないと考えられるものが 6 項目あった（表 13）。

施設数	30	項目数	カテゴリー				その他
			転倒・転落	感染	患者の把握	誤接続	
			23	35	23	3	6
			90				

表 13 - 調査票② その他の工夫や手法

各々の項目の内容を表 14（30 ページ～33 ページ）に示す。

病院名	病床数等	追加項目	
		カテゴリー	内容
A-2		患者の把握	ロングスパンの構造により、スタッフステーション、廊下に柱のない見通しの良い環境とした。
		患者の把握	スタッフステーションに隣接して観察用の4床室と正面廊下側に重症個室を3室配置し、患者の観察が行いやすいベッド配置に対応。
		患者の把握	各病棟の廊下端部2か所に看護業務をサポートする流し台、可動カウンター、汚物処理室を分散配置した。
		患者の把握	1床室はユニットシャワー・トイレ(重症個室はトイレ)を窓側に配置し、廊下側からのベッド観察が行いやすい構造とした。
		転倒・転落	患者が使用する廊下には壁の白色に対して濃いベージュ色の視認しやすい手すりを連続させた。
		転倒・転落	病棟小児科のプレイルームはクッション性のある床材を選定。
		転倒・転落	病室のメディカルコンソールは縦型のレイアウトとすることで、1床室のベッドを患者の状態に合わせて壁寄せした場合にも対応できる環境とした。
		感染	病棟には感染症の患者を想定した陰圧制御できる1床室を1室ずつ配置。
		感染	サービス用エレベータをと一般用と分離し、南北の2病棟のスタッフステーションを繋ぐスタッフ通路に面して配置。
		感染	感染症外来の専用入り口と隔離待合を配置。
		感染	移動間仕切りにより、平常時は救急と一体運用できる感染症病棟。
		感染	病棟の汚物処理室を2か所に分散配置。
		誤接続	各種医ガスアウトレット、コンセントは色分けし誤接続を防止。
B-1		その他	安心・安全な救急ヤード:救命救急センターの救急車寄付きをピロティに設け、風雨を避けた安全な搬送環境を整備。
B-2		患者の把握	スタッフステーションの廻りに重症個室を集中配置。
		患者の把握	スタッフステーションから見える患者用WCDドア。
		転倒・転落	連続した手摺と発泡層付き床材により転落・転倒時のリスクと衝撃を緩和。
		感染	病室前手洗いにPPE(壁面埋め込み)の設置。
		その他	車いすトイレを各4床室に配置し、麻痺対応として器具の配置が対象になるよう設置。
B-3		患者の把握	患者を観察しやすいスタッフステーション:スタッフステーションはクローズタイプとし、廊下ごしに重症個室の患者を観察しやすくするため腰上ガラス窓を設けた。
		転倒・転落	ベッドからのアクセスを考慮した水まわり設備:一部の4床室は窓側にユニットシャワー・トイレ、洗面台などの水まわりを配置し、車椅子が動きやすい十分なスペースを確保した。
		感染	外部からメンテナンス可能な配管:病室のトイレ、シャワー、洗面器などの衛生配管は部分的にスラブを下げて床上配管とし、外部バルコニーに縦配管を通してメンテナンスが可能な計画とした。
		感染	清潔区域の床面サイン:病棟は、洗浄室、ゴミ室、リネン室の不潔物を扱うエリアを端部に集約した。洗浄室(汚物処理室)の面する廊下は床材の色を変えて識別できるようにした。
B-4	一般病床 319床	転倒・転落	病棟のトイレの一部には、離座センサーを設けた。:前方ボードの動きをトイレ離座センサーが検知して、患者が立ち上がろうとしていることを通知するシステムとすることで、スタッフのトイレの補助の負担軽減を意図した。
		感染	ベッド回りの処置空間の確保とプライバシーの向上のために、患者の収納や冷蔵庫等を間仕切家具に集約し、床頭台のないベッドまわりとした。ベッドの床頭台をなくすことで、処置空間の確保と病室環境の向上を意図した。

表 14 - その他の手法や工夫

病院名	病床数等	追加項目	
		カテゴリー	内容
B-4	一般病床 319床	その他	処置空間の確保のため、一部の病室のウォールユニットには生体モニターが掛けられる工夫を行い、自立スタンドが必要なく使用できるようにした。
B-5		転倒・転落	ベッドから外を眺められるよう窓の腰壁を低く設定したが、転落防止のためバルコニーを設置した。また窓の開口制限を設けた。更に柔らかな光を取り入れるため障子窓を設けた。
		転倒・転落	個浴は3面介助が出来る浴槽とし、壁面には可動手摺を設けた。
		感染	水溜りを無くした手洗い器
		患者の把握	患者食堂を見渡せる病棟中央に設置したオープンカウンターのスタッフステーション
B-6		感染	4床室ベッド間仕切:ベッド間に感染防止・プライバシーを配慮した障子格子スクリーンを設置。
		感染	4床室前室 PPE、感染予防対策の集約:ガラススクリーンによる明るい前室。
		患者の把握	スタッフステーションの雁行廊下配置:病棟廊下を雁行配置し、スタッフステーションからの視認性を向上。
C-1		患者の把握	SSから病棟出入口が見通せるガラス張りのカンファレンスルーム。
C-2		感染	感染管理やプライバシーの観点から開閉可能なICUベッド間のパーティション。
E-1		転倒・転落	多機能トイレに小便器を設置し、男性高齢患者の足腰の負担を軽減。
		患者の把握	トイレから遠い外来待合に、トイレまでの距離をピクトに表示。
E-2		転倒・転落	建物周囲の免震クリアランス用側溝に患者の転落・怪我防止対策として豆砂利を充填し段差を解消した。
		感染	風除室の床に風除室用タイルカーペットを採用することで、段差解消、雨水・埃・砂等の持ち込み防止対策を行った。
		その他	車いす利用の障がい者専用駐車場に加え、「思いやり駐車場」として妊婦・けが人・老人等の弱者対応の駐車場を設置した。
E-4		転倒・転落	小児病棟中央に入院患者が出入り可能な大きな中庭を計画
		感染	小児外来および同受付を正面玄関の脇に配置
		感染	救急経過観察室を成人用と小児用に分け各々看護体制を分けた
F-1	651床(一般:647床、感染:4床)	転倒・転落	病室窓は解放制限付(約10cm)とした。
		転倒・転落	病棟廊下端部にストレッチャー収納スペースを設置。
		感染	院内患者エリア床全体を全面ビニル床シート採用。
		感染	病棟廊下に職員用手洗器を分散配置。
		患者の把握	見舞い客、患者がナースステーション窓口前を通過しなければエレベータ・階段にアクセスできない計画とした。
F-2	一般病床 302床	転倒・転落	病室窓は建具枠に開口制限のストッパーを設置し、転落防止を図った。
		感染	救急、小児外来に感染症対応ルート(入口、診察室)を設置した。小児外来については、一般待合とは別に待合を設置した。床仕上げに抗菌仕様の長尺シートを採用した。

表 14 - その他の手法や工夫

病院名	病床数等	追加項目	
		カテゴリー	内容
I-2		感染	第2種感染症病棟の他に各病棟階に第2種病室を設置。専用玄関からEVで直接搬送可能。廊下は一般病棟と区切れるように収納扉を設置。病棟内での感染対策として使用。
		感染	新たな感染症の出現に対応するため、別の建物に救急処置もできる施設を設置。通常はスタッフの訓練として利用。
		感染	トリアージスペース(総合待合ホール、ホスピタルガーデン)には2か所の玄関(主・サブ)を設置し、搬送ルートを複数確保。
I-1	311床	転倒・転落	「1階に集約した外来診療部門」: 外来診療部門をすべて集約した1階「超診療フロア」は、機能的な部門配置により中央コアを中心に回遊できるワンループ外来としている。ワンフロアに集約することで階の上下移動がなく高齢者や障がい者の転倒などのリスクを軽減し、安全で安心な外来診療部門を実現した。
		感染	「外来感染対策エリアの構築」: 1階外来部門に感染専用入口を整備し、外来感染対策エリアを構築した。専用の感染待合、診察室、準備エリアを整備し各室を陰圧対応とした。(通常は一般の診察室等に利用可能)
		患者の把握	「360度見渡せより身近な看護を実現した病棟」: 病棟は1看護60床とし、30床の2つの小ユニットの運用とした。中央に360度見渡せるフルオープンスタッフステーション(以下SS)を設け、それを取り囲むように病室を配置した。この病室配置により、SSと病室との距離は端部の病室まででも約6mと、看護動線の短い病棟を実現している。加えて各病室の廊下側の壁にはガラス窓を設けるとともに、トイレを1床室は外壁側配置、多床室は中央に集約することで、SSから室内への視線を遮らず、常に病室内の患者さんの様子を容易にうかがえる計画とした。この病棟形態により、患者さんにとっては見守られる安心感が生まれ、スタッフにとっては迅速な対応と身近な看護を実現している。実際の運用後、「動線が短くなり、ラウンドや訪室がしやすくなった」、整形外科病棟では、室内の様子がうかがえるため「転倒が少なくなった」というスタッフの声も届いている。
J-1		感染	PPEセット、消毒液置き場を壁埋め込みで設置。
		患者の把握	2つのクラスターごとにナースコーナーを設置。
		誤接続	医ガス等ベッド廻り設備の隠蔽。
J-2		感染	PPEセット置き場を、看護材料やゴミ箱収納と一体にして設置(メディカルボックス)。
		患者の把握	2つのクラスターごとにNU(ナースユニット)を設置。清潔準備作業、不潔作業をセットで。
		誤接続	医ガス等ベッド廻り設備の隠蔽。
K-2		患者の把握	病棟WCや洗面をスタッフステーションに近い位置に集中化し、管理しやすい計画とした。
K-1	総数600床(一般病床592床、感染症病床8床)	転倒・転落	小児病棟における窓台を斜めとし、小児が窓台にあがる事の防止(転落防止)。
L-1		転倒・転落	ベッドからの転落を未然に防ぐために見守りカメラを設置。
		感染	結露や埃を防ぐためにICUなどの清浄区域の外部サッシを2重サッシとし、電動ブラインド内蔵とした。同様に清浄区域内の個室はブラインド内蔵型のスチールパーティションとした。
		感染	汚染の可能性の高いサニタリールーム(汚物処理室)は自動ドアとした。
		患者の把握	患者の見守りやすさとプライバシー保護を両立するためにスタッフステーションにガラススクリーンを設置。
L-2		感染	血液内科病棟で設けている無菌病室では、陽圧管理のため、以下のような対応を実施。 ①インターロックのかかる前室を設置
		感染	血液内科病棟で設けている無菌病室では、陽圧管理のため、以下のような対応を実施。 ②無菌病室の外壁窓を2重サッシとしている。(外部と内部サッシ間に電動ブラインドを入れ、室内にほこりが溜まらないようにしている。)
		感染	血液内科病棟で設けている無菌病室では、陽圧管理のため、以下のような対応を実施。 ③内装では、床材立上げ、壁と天井をクリーンクロス(クリーンルーム用クロス)としている。
		感染	血液内科病棟で設けている無菌病室では、陽圧管理のため、以下のような対応を実施。 ④エリア内から患者が外に出なくても生活できるように、無菌病室内にWC、前室内にユニットシャワーを設置。
		感染	■健診利用者の動線に配慮: 2階の外来メイントランスとは別に、1階にサブエントランスを設け、健診利用者と一般患者との動線の交錯に配慮。

表 14 - その他の手法や工夫

病院名	病床数等	追加項目	
		カテゴリー	内容
M-2		感染	4床室のベッド間にカーテンを2重につけて、看護師用のスペースを設けている。そのことにより、ベッド間の距離をとることができ、感染予防に寄与している。
O-1		転倒・転落	病室便所にFUNレストテーブルを設置した。
		患者の把握	病棟廊下に、病室内を見ることができる小窓がついた看護拠点を設置した。 小窓は病室側にカーテンを設置することで、患者の意思でプライバシーが確保できるようにしている。
		患者の把握	患者支援ピクトグラム付きの病室番号サインを設置した。
P-1	一般病棟 471床・ 救命救急センター 26床・結核病床 10床・感染病床 8床 計 515床	転倒・転落	整形病棟の一般便所のブースは車いす使用者と介助者が一緒に入ることができるスペースを確保し折戸とした。その際、使用者は中からは折戸の引手に届かず、介助者が外から閉める必要があるが、外側にも引手を設けて操作性を向上した。
		転倒・転落	整形病棟の一部のトイレに正面からまたがることのできる便器を採用した。
R-2	一般病床 108床	転倒・転落	ベンチ付きシャワー室
		その他	環境照明による患者配慮
S-1		その他	手術室直上階を二重床として設備配管を敷設することで、万一の配管からの漏水が手術室へ影響しない計画とした。
S-2		感染	病棟のスタッフステーションに隣接した洗浄室に廊下からアクセスできる平面計画として、洗浄物を持ったスタッフがスタッフステーションの中に入らずに洗浄作業ができる計画としている。
		感染	スタッフステーション内での清污区分を明確にした計画として配慮した。
		患者の把握	各病棟の入口に電気錠(遠隔解錠)とインターホンの運用による、セキュリティを設定して、関係者外や不審者等の病棟入室を管理できる計画としている。
		患者の把握	各病棟の入口に近接した位置にスタッフステーション(SS)を配置することで、訪問者や入院患者の離病棟などの把握がしやすい配置計画としている。
T-2		転倒・転落	緩和ケア病棟の個室は車椅子で使用しやすい、2面が開放できる扉を採用している。
		患者の把握	病棟はスタッフコーナーを分散配置して、チームごとに看護ができるようにしている。
V-1		転倒・転落	転倒等の早期発見と病室内の明るさ確保のため、病室内外壁側に設けたトイレをポリカ性のガラス風の壁とした
		患者の把握	患者の把握のため、病室をSSの廻りに配置し、病室の廊下側壁や扉を腰上ガラスとした。

表 14 - その他の手法や工夫

4. おわりに

4. おわりに

本研究では、安全で安心な施設環境づくりに有効な設計上の手法や工夫を明らかにするための端緒として、そのような手法や工夫を設計者が実際の設計でどのような形で採用しているかについて基礎的な調査を行った。

本研究で調査の対象とした「事例集」103 項目については、調査対象とした設計者の約 86%が何らかの形で実際の設計に採用していると答えており、これらの設計上の手法や工夫が医療施設の設計者の間で一般化していることが窺える。これは、安全で安心な施設環境づくりが現代の医療施設設計者のテーマの一つになっていることが影響していると言えるだろう。

しかしながら、本研究で設定した「採用度」で各項目を見直すと、項目によって採用されやすさに大きな差があることが判った。また本調査から、設計者がこれらの項目を採用しないと判断する理由の多くは「コストがかかりすぎる」とことと「効果に期待できない／効果が明確ではない」とことの二つであった。

効果が明確で安全な施設環境づくりに大きく寄与する手法や工夫であれば、費用対効果の考えから一定以上のコスト（費用）を掛けても採用するという判断があつてしかるべきである。上記二点が採用しない理由の大半を占めているということは、「事例集」に掲載されているような既に一般化した設計上の手法や工夫についても、設計者にその効果について確固たる確証がないことの表れであるともとれる。

今後は、「事例集」の項目だけでなく、今回その他の手法として設計者から提供された手法や工夫についても、各々が安全かつ安心な施設環境づくりに対して真に有効か否か、有効であるならばその費用対効果はどうか、などについてエビデンスをもって明らかにしていくことが大切と考える。

「採用度ランキングシート」

総合順位

1

1-061

感染

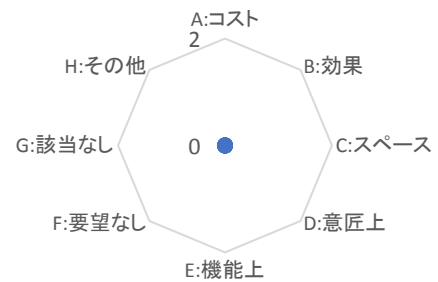
埃だまりをなくす天井カーテンレール

天井に直接取り付けタイプのカーテンレールを採用することで、カーテンレールの上部に埃がたまるのを防ぐ。

採用度	24.0
カテゴリ順位	1

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

2

1-057

感染

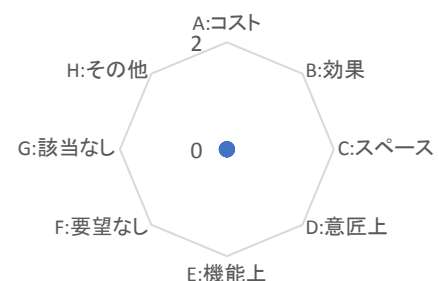
清掃が容易な仕上材

ビニル床シートやタイルカーペットのように、凹凸のある継ぎ目やへこみ、目地や隙間などが無い床仕上げ材を採用する。

採用度	23.0
カテゴリ順位	2

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

3

1-017

転倒・転落

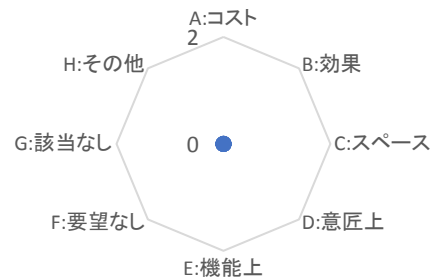
段の寸法が適切な階段

蹴上（けあげ＝段の高さ）、踏面（ふみづら＝段の奥行き）に、建築基準法をクリアするだけでなく、上り下りするのに適切な寸法を採用する。

採用度	22.5
カテゴリ順位	1

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

3

1-039

転倒・転落

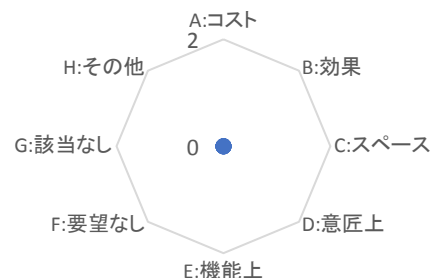
立位でも車いすでも アクセスしやすいカウンター

受付カウンター等に、立位と座位（車いす）それぞれに対して適切な高さのカウンターを2種類設置する。

採用度	22.5
カテゴリ順位	2

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

5

1-005

転倒・転落

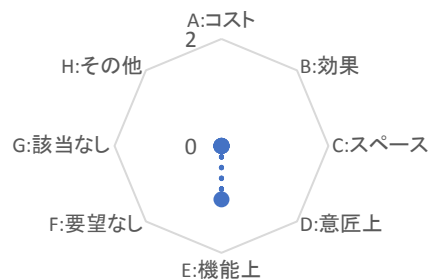
配置を工夫したベッド周りのコンセント

とくに病室で、コンセントを、そこから延びる電源コードに足を取られて転倒しない位置（床から高い位置、床頭ユニット側面など）に設置する。

採用度	22.0
カテゴリ順位	3

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	1	0	0	0



総合順位

6

1-064

感染

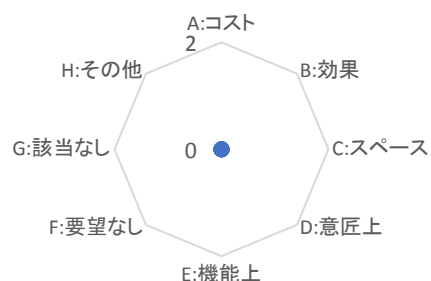
スタッフステーション内の作業空間の清污分離

スタッフステーション内で清污の作業が混在しないように、ステーション内の諸室を明確に区画する。

採用度	21.5
カテゴリ順位	3

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

6

1-076

感染

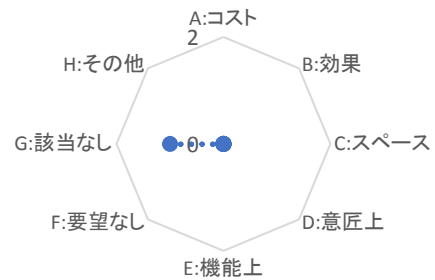
オーバーフローを閉鎖した手洗い

手洗い器のオーバーフロー穴は感染源となるため、オーバーフロー穴の無いものを採用する。その際には、水が貯められないように水栓は設置しない。

採用度	21.5
カテゴリ順位	4

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	0



総合順位

8

1-093

患者の把握

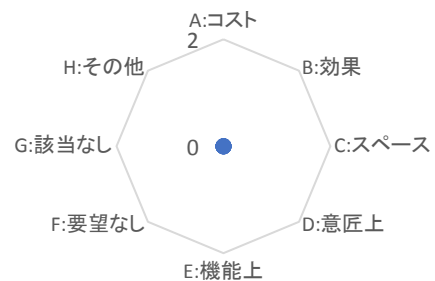
スタッフステーションに面した重症室

見守り、観察がしやすいように、スタッフステーションに面して重症室を計画する。

採用度	21.0
カテゴリ順位	1

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

8

1-102

誤接続

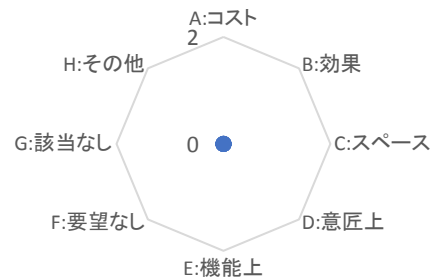
コンセントの誤接続防止

電源コンセントの誤接続を防ぐため、コンセントは用途（無停電電源・自家発電機・コジェネ・一般等）によって色分けしたものを設置する。

採用度	21.0
カテゴリ順位	1

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

10

1-007

転倒・転落

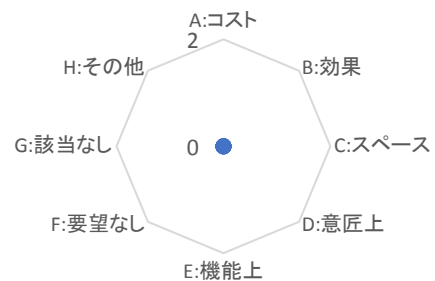
背板を設けたトイレ

患者の夜間の病室内移動の際の転倒や転落を防ぐため、病室内の適切な位置に常夜灯や足元灯を設置する。

採用度	20.5
カテゴリ順位	4

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

10

1-038

転倒・転落

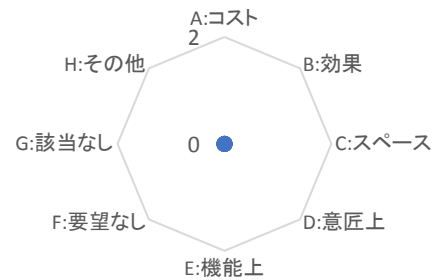
画像診断室等の扉の沓摺り（床部分）非設置

画像診断室等への出入りの際の転倒を防ぐため、沓摺り（くつづり＝閉鎖した扉の真下の床部分に取り付ける部材）が無い放射線防護扉を採用する。

採用度	20.5
カテゴリ順位	5

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

12

1-021

転倒・転落

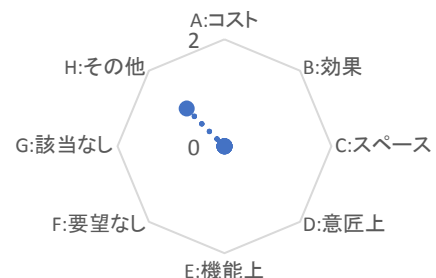
柔らかい床のプレイルーム

プレイルームなど利用者が頻繁に転倒することが予測される場所に、衝撃を緩和する柔らかい床材料を採用する。

採用度	20.0
カテゴリ順位	6

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	1



総合順位

12

1-092

患者の把握

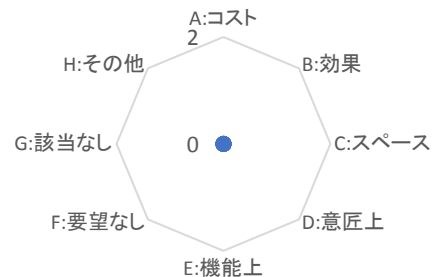
患者を観察しやすいスタッフステーション

スタッフステーションをオープンに計画した上でステーションを取り囲むように病室を配置するなど、多くの病室の様子をステーションから観察しやすい病棟を計画する。

採用度	20.0
カテゴリ順位	2

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

14

1-063

感染

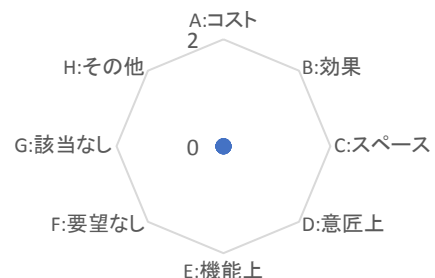
医療用と一般用のエレベータを完全に分離する配置計画

医療従事者や入院患者と一般来訪者が同じ閉鎖空間に混在することを避けるため、医療用と一般用のエレベータを分けて計画する。

採用度	19.5
カテゴリ順位	5

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

15

1-036

転倒・転落

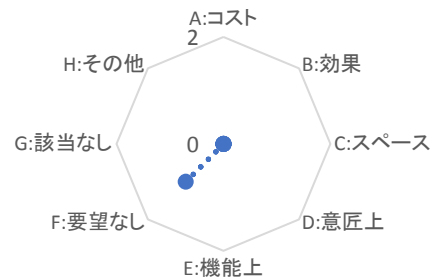
安全なレバーハンドル

患者の衣服等が引っ掛かりにくい形状のレバーハンドル（扉の取っ手）を採用する。

採用度	19.0
カテゴリ順位	7

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	1	0	0



総合順位

16

1-027

転倒・転落

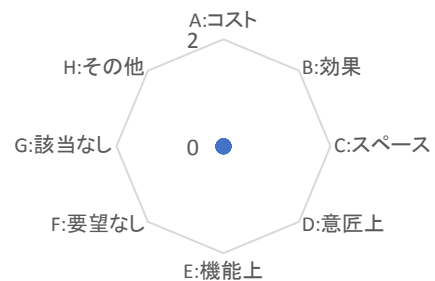
途切れない手すりの配置

廊下の手すりは、引き戸の戸袋部分や消火栓などで途切れないように設計する。

採用度	18.5
カテゴリ順位	8

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

16

1-056

感染

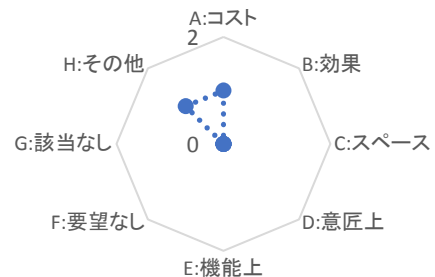
床材の巻き上げ

埃がたまりやすい床と壁の取り合い部分（巾木＝はばき）の掃除がしやすいように、床材を壁側に10センチ程度立ち上げた設計とする。

採用度	18.5
カテゴリ順位	6

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	0	0	0	1



総合順位

18

1-037

転倒・転落

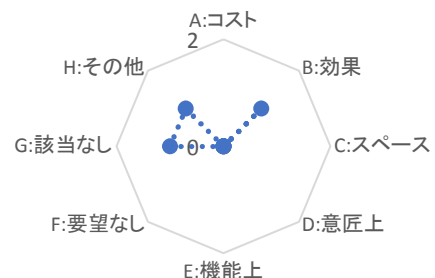
足掛かりとならない立ち上がり

吹抜け等にガラス手すりを設置する際、床との取り合い部分を足掛かりにできないように傾斜をつけるなど形状を工夫する。

採用度	17.0
カテゴリ順位	9

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	0	0	0	0	1	1



総合順位

18

1-077

感染

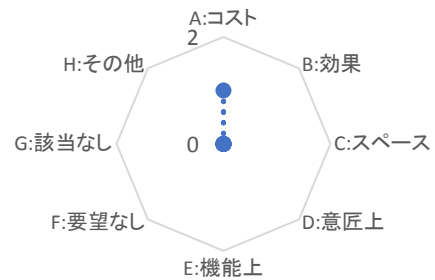
肘まで洗える手洗い器

医療従事者の使用する手洗い器は、水が撥ねずに肘まで洗うことができる十分な深さをもったものを採用する。

採用度	17.0
カテゴリー順位	7

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

20

1-043

感染

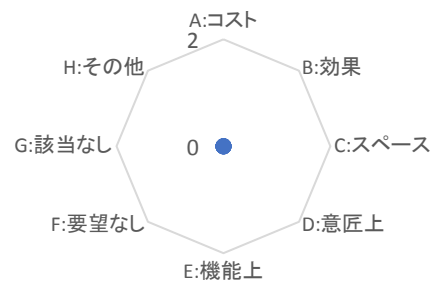
感染症患者のための動線計画

外部に面して感染症患者専用の入口を設置するなど、他の患者に接触することなく移動可能な動線を計画する。

採用度	16.5
カテゴリー順位	8

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

20

1-069

感染

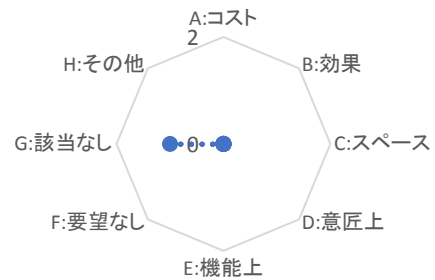
埃だまりをつくらないデザインの家具

造り付け家具は、天井との間を塞いだり、傾斜パネルを取り付けるなど、埃がたまらない形状で設計する。

採用度	16.5
カテゴリ順位	9

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	0



総合順位

22

1-008

転倒・転落

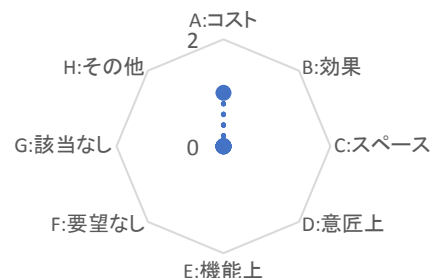
車いすでの利用や介助がしやすい個室病室のトイレ

病室内トイレの建具を引戸と開戸を組み合わせたものとし、双方を開放することで広い開口を確保、車いすの介助をしやすいように計画。引戸のみを開放すれば通常の利用も可能。

採用度	16.0
カテゴリ順位	10

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

22

1-041

感染

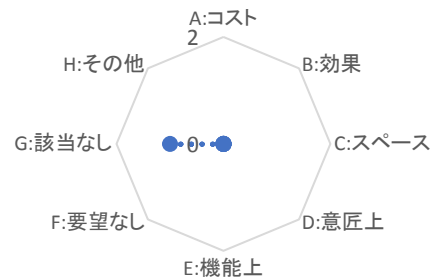
救急外来の隔離待合

感染の疑いのある救急外来患者を待機させるための専用待合室、感染拡大を防ぐため空調は陰圧管理を行う。

採用度	16.0
カテゴリー順位	10

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	0



総合順位

22

1-042

感染

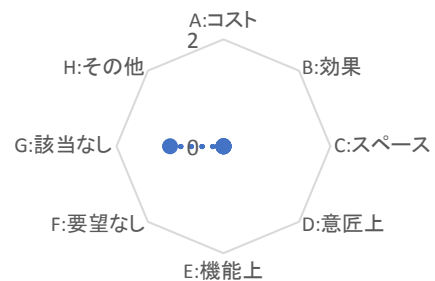
外来の隔離診察室

感染の疑いのある外来患者のための診察室、感染拡大を防ぐため空調は陰圧管理を行う。

採用度	16.0
カテゴリー順位	11

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	0



総合順位

22

1-104

誤接続

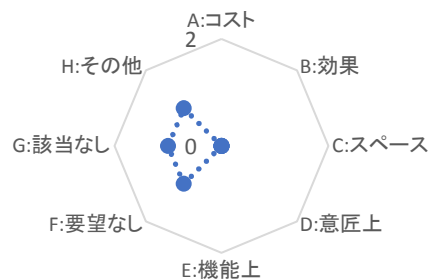
各種ガスの取り出し口の工夫

医療ガスの種類ごとに形状が異なるコネクターや取り出し口が色分けされたものを採用。

採用度	16.0
カテゴリ順位	2

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	1	1	1



総合順位

26

1-010

転倒・転落

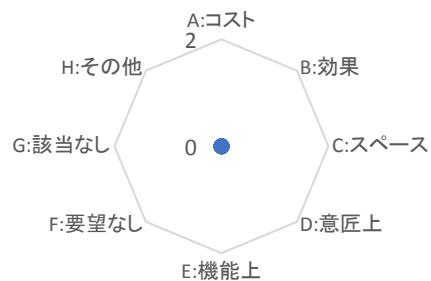
肘掛け手すりや緩衝材を付属した便器まわり

座位が不安定な患者が便器から転落しないように、便器の周囲に肘掛け手すりや背もたれを設置。

採用度	15.5
カテゴリ順位	11

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

27

1-013

転倒・転落

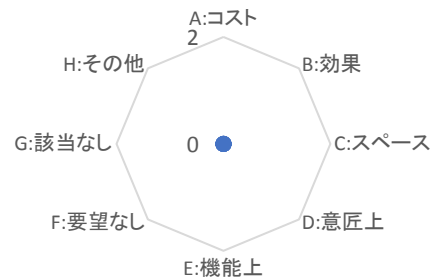
左右どちらの麻痺にも対応できる浴室

浴槽、手すり等を左右対称に配置した浴室を用意し、左右どちらの麻痺を持つ患者も安全に使用できるように計画。

採用度	14.0
カテゴリ順位	12

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	0



総合順位

27

1-034

転倒・転落

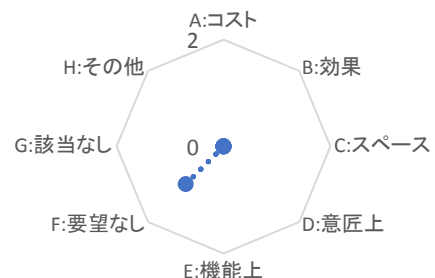
対応ユーザーを明示するサイン

「左が使える人」など、トイレ内のつくりに応じて安全に使用できる患者の身体状況を伝えるサインを扉に表示。

採用度	14.0
カテゴリ順位	13

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	1	0	0



総合順位

27

1-095

患者の把握

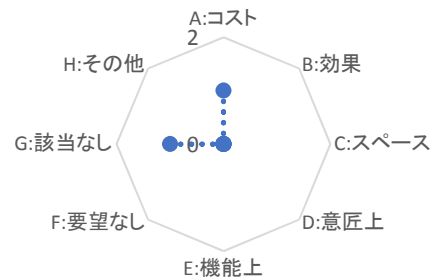
集中治療病棟の患者監視モニター

患者の異常を早期発見するために、患者監視モニターをスタッフステーション内に設置。

採用度	14.0
カテゴリ順位	3

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	0	0	1	0



総合順位

27

1-048

感染

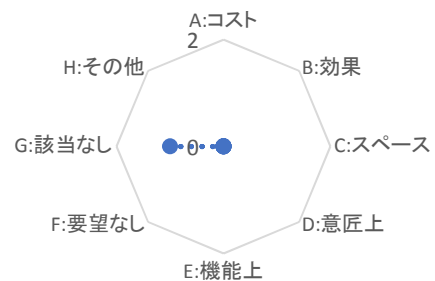
感染症対応病室

感染症患者に対応するため、空調の陰陽圧切り替えが可能な、前室付きの病室を計画。

採用度	14.0
カテゴリ順位	12

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	0



総合順位

27

1-049

感染

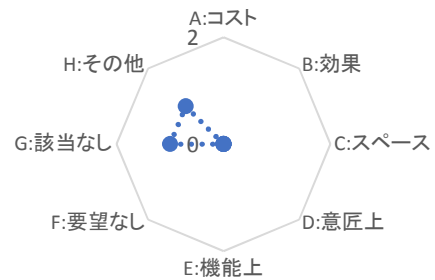
パーティションで区切られたICU病床

オープンフロア型のICUであっても、患者間の飛沫感染を防ぐためベッド間にパーティションを設置。

採用度	14.0
カテゴリ順位	13

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	1



総合順位

27

1-058

感染

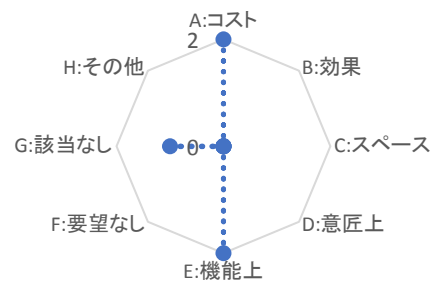
壁掛け式便器

便器下部の床を清掃しやすいよう、便器は壁掛け型を採用。

採用度	14.0
カテゴリ順位	14

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
2	0	0	0	2	0	1	0



総合順位

33

1-011

転倒・転落

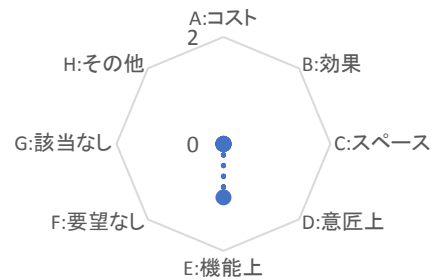
背板を設けたトイレ

便座での姿勢を支えるための補助として背板を設置。

採用度	13.5
カテゴリ順位	14

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	1	0	0	0



総合順位

34

1-026

転倒・転落

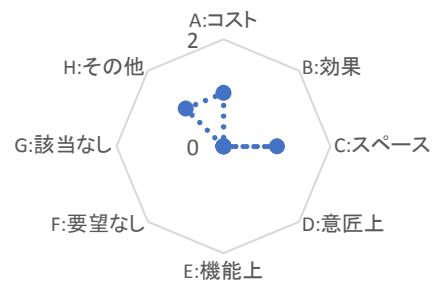
身体を支えやすい形状の手すり

従来型の円形断面の手すりではなく、握りやすく体重を載せやすい楕円形断面の手すりを採用。

採用度	13.0
カテゴリ順位	15

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	1	0	0	0	0	1



総合順位

34

1-060

感染

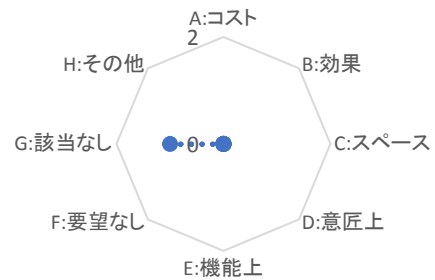
床清掃しやすい 天井からの電源・医療ガス供給

天吊り型アームからの電源・医療ガス供給とし、床の清掃性を高めるとともに、配線への汚れの付着も防止。

採用度	13.0
カテゴリ順位	15

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	0



総合順位

34

1-078

感染

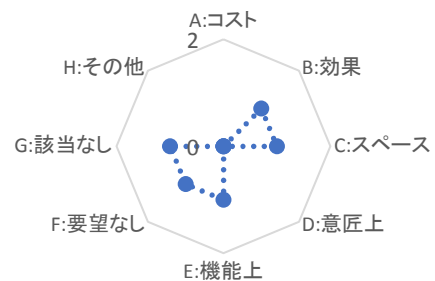
手洗いと壁との間の隙間を確保

手洗い器と側面壁との間に隙間を設けることで水分が壁に付着したまま留まらないようにして、壁部のカビの発生を防止。

採用度	13.0
カテゴリ順位	16

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	1	0	1	1	1	0



総合順位

37

1-009

転倒・転落

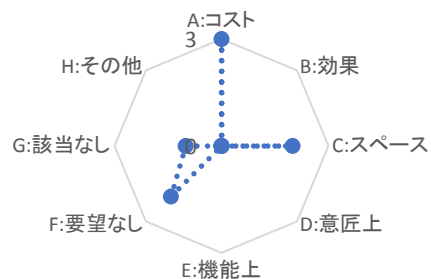
複数箇所に設置した個室トイレ

個室トイレ内で患者が倒れた際にナースコールを操作できない状況になるのを防ぐため、トイレ内にナースコールを高さや位置を変えて複数箇所設置。

採用度	12.5
カテゴリ順位	16

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
3	0	2	0	0	2	1	0



総合順位

37

1-075

感染

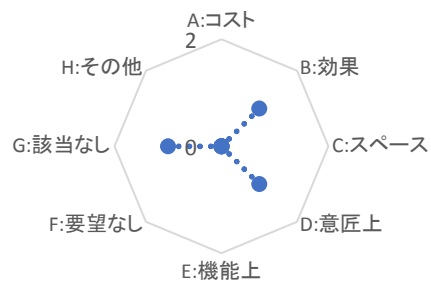
手洗いを促す工夫-2

病棟で、スタッフステーション前や患者・見舞客の目につきやすい位置に手洗い器を設置。

採用度	12.5
カテゴリ順位	17

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	0	1	0	0	1	0



総合順位

39

1-096

患者の把握

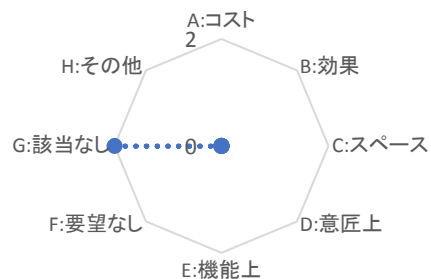
集中治療室における病室前の看護拠点

個室の集中治療室入口脇に看護拠点となるデスク等を設置、そこから室内が見えるようにガラス窓を設置。

採用度	12.0
カテゴリ順位	4

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	2	0



総合順位

39

1-099

患者の把握

病室扉へのガラス窓の設置

廊下から病室内の様子を観察しやすくするために、病室入口扉に大きなガラス窓を設置。

採用度	12.0
カテゴリ順位	5

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	1	2	0	0



総合順位

39

1-046

感染

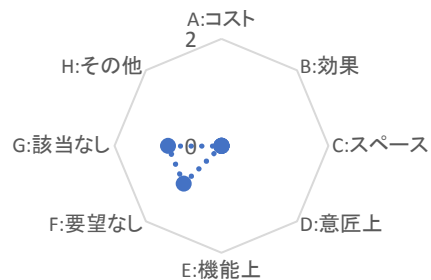
新生児の感染予防

NICU内部に感染管理可能な前室付きの隔離個室を設置、エレベータから隔離室へはNICUを介さず入室できるように廊下側に専用の入口を計画。

採用度	12.0
カテゴリー順位	18

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	1	1	0



総合順位

39

1-051

感染

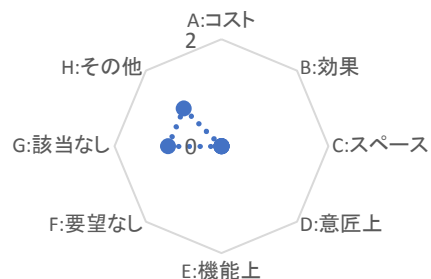
空調環境の中央管理

感染症対応病室や手術室等の陰陽圧制御を中央管理化。

採用度	12.0
カテゴリー順位	19

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	1	1



総合順位

39

1-103

誤接続

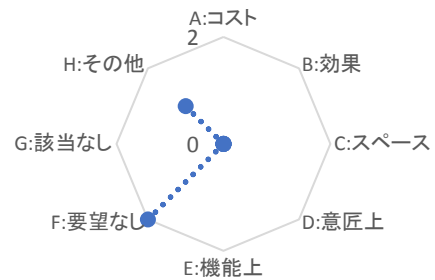
医療ガスのJIS規格と合わせた フレームカラー

医療ガスのマニホールド（多岐管）のフレームカラーをJIS規格の医療ガス配管設備の識別色で塗装する。

採用度	12.0
カテゴリ順位	3

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	2	0	1



総合順位

44

1-028

転倒・転落

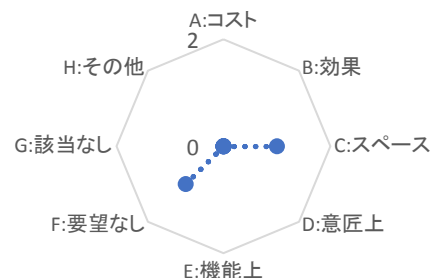
2か所で支えることができる手すり

患者が引戸を開ける際安定して身体を支えられるように、引戸の引手の側の壁面部分に手すりを設置。

採用度	11.5
カテゴリ順位	17

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	1	0	0	1	0	0



総合順位

44

1-029

転倒・転落

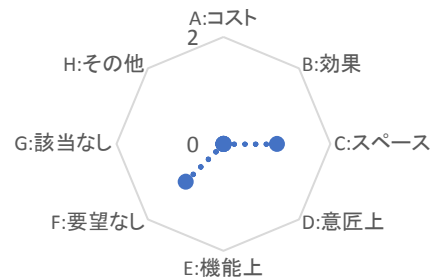
トイレへの移動を補助する手すり

病室内で病室内設置トイレに患者が移動する際の転倒予防のため、ベッドからトイレまでの手すりを設置。

採用度	11.5
カテゴリ順位	18

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	1	0	0	1	0	0



総合順位

44

1-035

転倒・転落

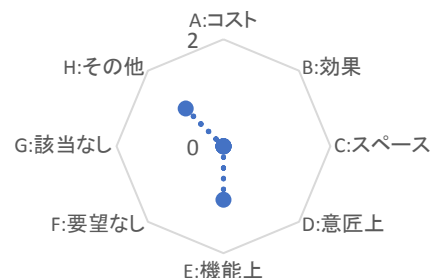
転倒リスクを防止する細やかな配慮：杖掛け

倒れた杖を拾う際の患者の転倒リスクを軽減するため、受付カウンターに窪み（杖掛け）を設置。

採用度	11.5
カテゴリ順位	19

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	1	0	0	1



総合順位

44

1-050

感染

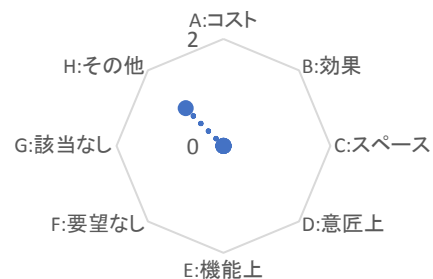
飛沫感染防止のためにベッド間に家具を設置

飛沫感染の防止効果を高めるため、ベッド間隔を十分に確保するとともに、ベッド間に家具等による仕切りを設置。

採用度	11.5
カテゴリ順位	20

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	1



総合順位

44

1-065

感染

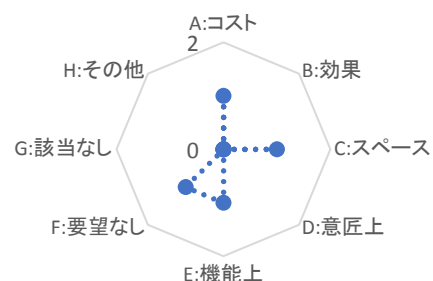
汚物処理室の分散配置

病棟内に汚物処理室を分散配置することで、汚物の搬送動線を短縮化。

採用度	11.5
カテゴリ順位	21

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	1	0	1	1	0	0



総合順位

44

1-073

感染

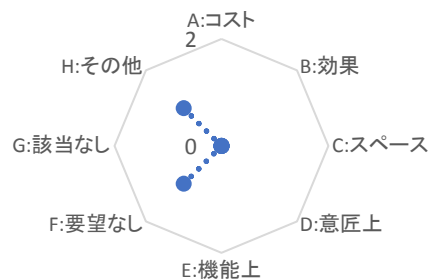
PPEラックの病室内設置

PPE（個人用防護具 personal protective equipment）用の収納ラック（又は棚等）を病室内入口付近に設置。

採用度	11.5
カテゴリ順位	22

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	1	0	1



総合順位

44

1-081

感染

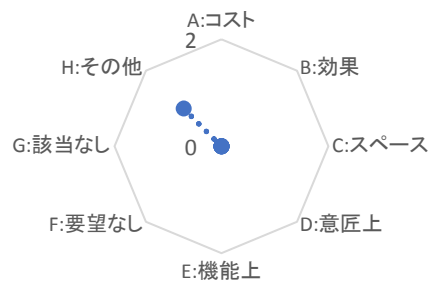
壁埋め込み型手指消毒ホルダー

廊下等通行時の障害にならないよう、病室前の壁に半埋め込み型で手指消毒ホルダーを設置。

採用度	11.5
カテゴリ順位	23

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	0	1



総合順位

51

1-001

転倒・転落

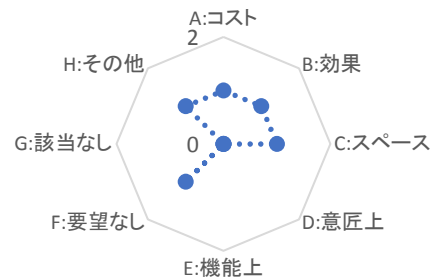
ベッドからのアクセスを考慮した 水まわり設備

ベッドから病室内トイレのアクセスを容易にして転倒リスクを軽減するため、トイレの入口をベッド側に向けて計画。

採用度	11.0
カテゴリ順位	20

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	1	1	0	0	1	0	1



総合順位

51

1-030

転倒・転落

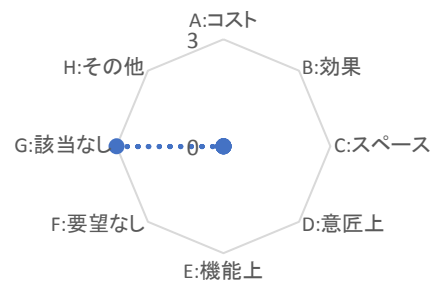
転落防止用のガラス

吹抜け部分に転落防止用のガラス壁（手すり壁）を設置。ガラスとすることで見通しを確保しながら転落事故を防止。

採用度	11.0
カテゴリ順位	21

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	0	3	0



総合順位

51

1-097

患者の把握

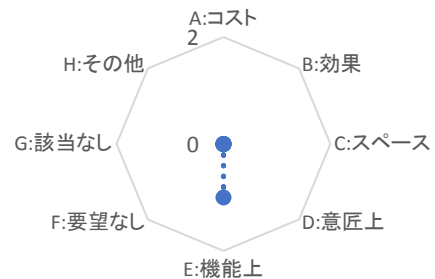
スタッフステーション内の患者観察スペース

近くで観察が必要な患者のためのスペースをスタッフステーション内に確保。

採用度	11.0
カテゴリー順位	6

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	1	0	0	0



総合順位

51

1-101

患者の把握

患者観察しやすい病室内の水回りレイアウト

病室入口付近からベッド上の患者の様子を窺うことのできる視界を確保するため水まわりの位置や形状を工夫。

採用度	11.0
カテゴリー順位	7

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	1	0	0	1	0	1



総合順位

51

1-067

感染

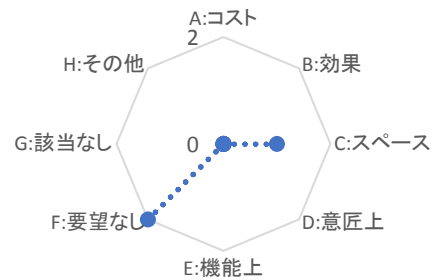
パンデミックを想定した外来区画

パンデミックにより外来に感染症患者在多数来院する事態に備え、受付や待合を専用区画に転換できるように計画。

採用度	11.0
カテゴリ順位	24

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	1	0	0	2	0	0



総合順位

51

1-084

感染

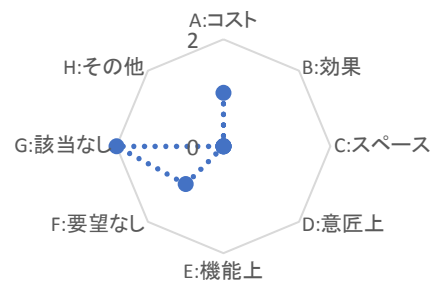
救急入口の除染装置

NBC（核・生物・化学）災害の二次除染装置（高圧シャワー設備等）の設置。

採用度	11.0
カテゴリ順位	25

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	0	1	2	0



総合順位

57

1-016

転倒・転落

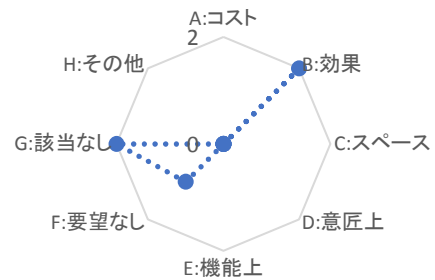
乗降部の平らな部分を長くとした エスカレータ

乗降エリアの水平部分を通常より長くする（ステップ枚数の増）により、エスカレータ乗降時の転倒リスクを軽減。

採用度	10.5
カテゴリ順位	22

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	2	0	0	0	1	2	0



総合順位

58

1-059

感染

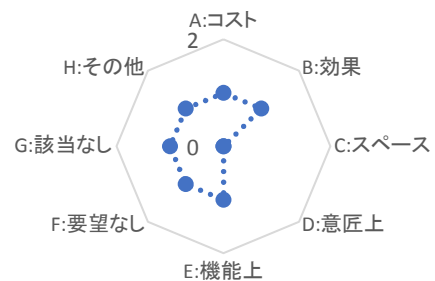
壁付き収納

家具下の床を清掃しやすい壁付きの収納家具。

採用度	9.5
カテゴリ順位	26

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	1	0	0	1	1	1	1



総合順位

58

1-074

感染

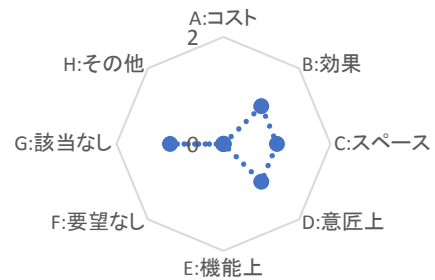
手洗いを促す工夫- 1

スタッフ用の手洗い器を廊下に面して設置。

採用度	9.5
カテゴリ順位	27

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	1	1	0	0	1	0



総合順位

60

1-012

転倒・転落

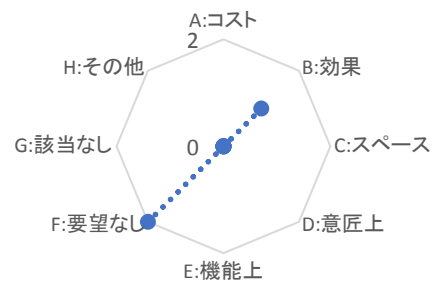
排泄中の座位保持をたすける手すり

座位が不安定な患者の身体の支えとなる前方および左右の手すりを設置。

採用度	9.0
カテゴリ順位	23

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	0	0	0	2	0	0



総合順位

60

1-014

転倒・転落

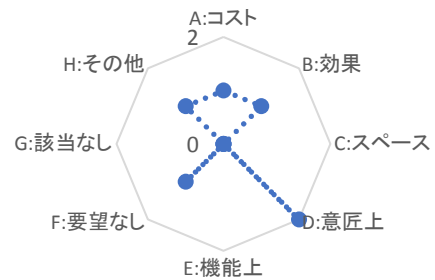
目立つ色の手すり

シャワー室内で患者が認識しやすい目立つ色の手すりや椅子。

採用度	9.0
カテゴリ順位	24

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	1	0	2	0	1	0	1



総合順位

60

1-068

感染

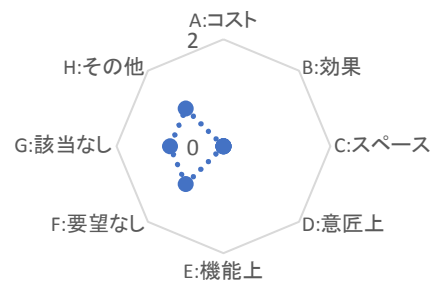
小児病棟での家族面会用区画と面会用窓

感染対策として、面会室に病棟外に面した窓を設け、家族が病棟に入らずに窓越しに面会が可能なように計画。

採用度	9.0
カテゴリ順位	28

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	1	1	1



総合順位

60

1-070

感染

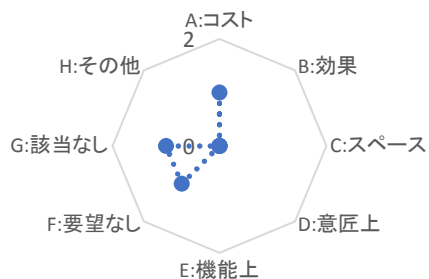
全室個室化

病室を全室個室として院内感染リスクを軽減。

	9.0
カテゴリー順位	29

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	0	1	1	0



総合順位

64

1-045

感染

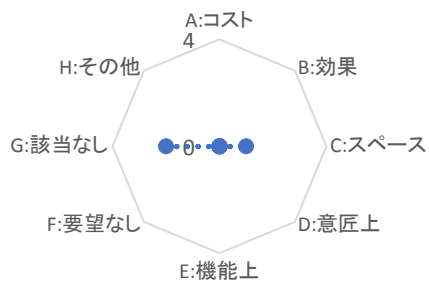
NICUの個室化

新生児間の感染予防のため、NICUを個室化。

採用度	8.5
カテゴリー順位	30

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	1	0	0	0	2	0



総合順位

64

1-052

感染

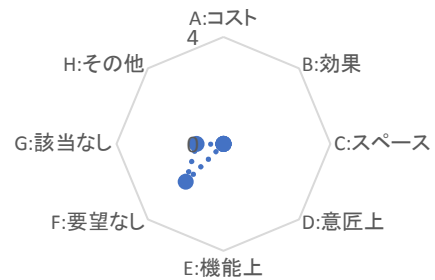
差圧計の設置

感染症対応病室等の確実な陰圧管理確認のため差圧計を設置。

採用度	8.5
カテゴリ順位	31

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	0	2	1	0



総合順位

66

1-031

転倒・転落

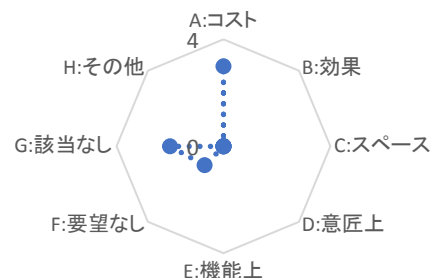
転落防止用の屋上のガラス壁

屋上庭園等に転落防止用のガラス壁を設置。ガラスとすることで解放感を確保しながら転落事故を防止。

採用度	8.0
カテゴリ順位	25

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
3	0	0	0	0	1	2	0



総合順位

66

1-054

感染

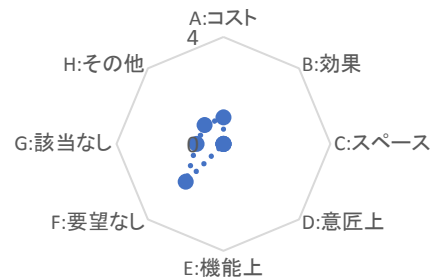
高性能フィルター

免疫低下している患者の病室の換気口に高性能フィルターを設置。

採用度	8.0
カテゴリ順位	32

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	0	2	1	1



総合順位

68

1-003

転倒・転落

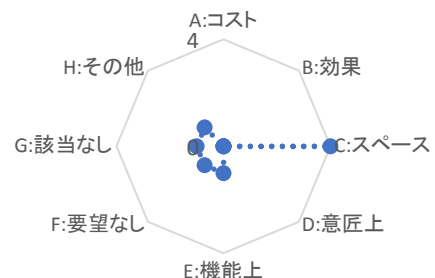
病室内の不要な車いすを 収納するためのスペース

未使用時の車いすを歩行の妨げにならないように収納するスペースを病室の出入口付近に確保。

採用度	7.5
カテゴリ順位	26

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	4	0	1	1	1	1



総合順位

68

1-018

転倒・転落

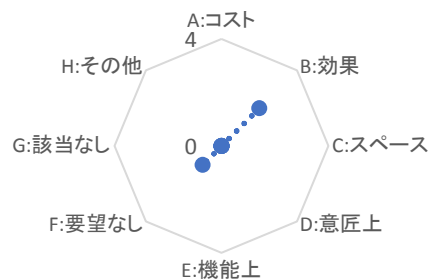
二段型の手すり

子供から高齢者まで、体格差に関わらずつかまりやすいよう複数本の手すりを高さを変えて設置。

採用度	7.5
カテゴリ順位	27

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	2	0	0	0	1	0	0



総合順位

68

1-024

転倒・転落

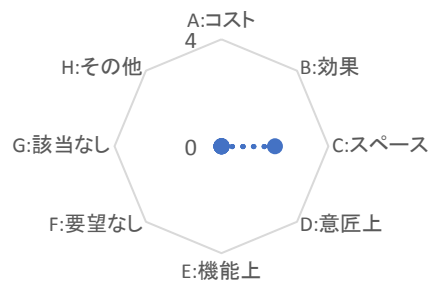
病室内の手すり

患者の病室内移動の際の転倒リスクを軽減するために病室内に手すりを設置。

採用度	7.5
カテゴリ順位	28

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	2	0	0	0	0	0



総合順位

68

1-091

患者の把握

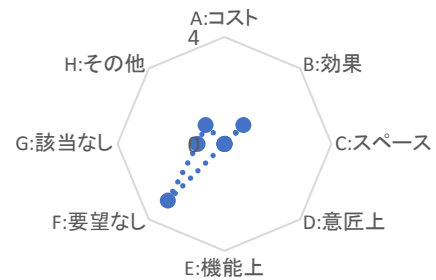
医療看護支援ピクトグラム

患者の状態や治療上の制限等をわかりやすくピクトグラムでベッドサイドに表示するシステム（医療看護支援ピクトグラム）の採用。

採用度	7.5
カテゴリ順位	8

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	0	0	0	3	1	1



総合順位

72

1-019

転倒・転落

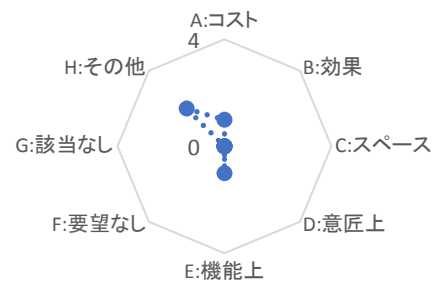
休憩用ベンチを設けた廊下

長めの廊下の途中に休憩のためのベンチを設置。

採用度	6.5
カテゴリ順位	29

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	1	0	0	2



総合順位

72

1-094

患者の把握

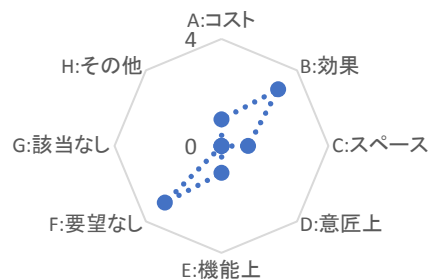
看護拠点の分散配置

ベッドサイドナーシングの実践のため、看護拠点を病棟内に分散して配置。

採用度	6.5
カテゴリ順位	9

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	3	1	0	1	3	0	0



総合順位

74

1-015

転倒・転落

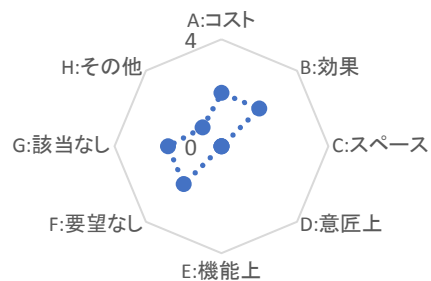
エスカレータの手すり追加

エスカレータからの転落を二段階で防ぐため、エスカレータのベルト手すりの外側にさらに固定手すりを設置。

採用度	6.0
カテゴリ順位	30

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
2	2	0	0	0	2	2	1



総合順位

74

1-044

感染

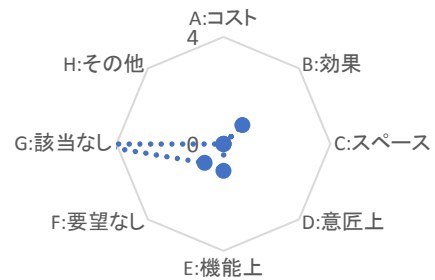
ガラス張りのスタッフステーション

結核病棟等で見通しを確保しつつ職員への感染を防ぐため、スタッフステーションと廊下をガラス（カウンター上）で区画。

採用度	6.0
カテゴリ順位	33

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	0	0	1	1	5	0



総合順位

74

1-055

感染

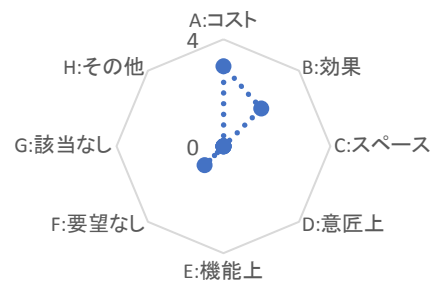
除菌・脱臭システム

各所からの排気の除菌、脱臭を効果的に行うためにダクトに光触媒を内蔵したものを採用。

採用度	6.0
カテゴリ順位	34

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
3	2	0	0	0	1	0	0



総合順位

74

1-079

感染

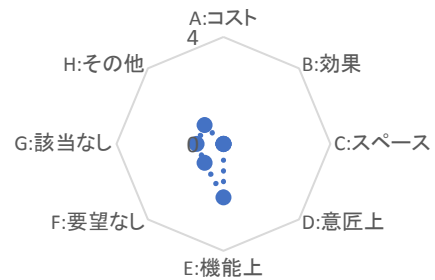
人感センサーによる病室手洗い照明の点灯

院内感染リスク軽減のため、手洗い照明にスイッチへの接触がない人感センサー方式を採用。

採用度	6.0
カテゴリ順位	35

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	2	1	1	1



総合順位

74

1-083

感染

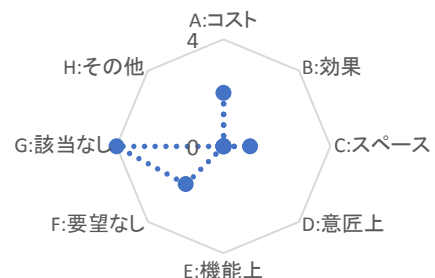
除染装置のある救急入口

NBC（核・生物・化学）災害の際の二次除染のため、救急入口の外部に除染スペースを確保。

採用度	6.0
カテゴリ順位	36

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
2	0	1	0	0	2	4	0



総合順位

79

1-025

転倒・転落

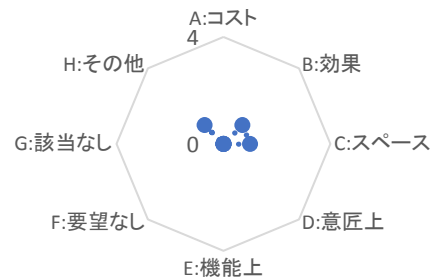
洗面台周囲に手すりを設置

洗面台等の水まわりから床に撥ねた水で滑ることによる転倒リスクを軽減するため、専用の手すりを設置。

採用度	5.5
カテゴリ順位	31

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	1	0	0	0	0	1



総合順位

80

1-047

感染

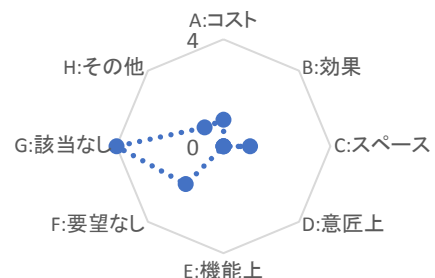
感染症専用エレベータ

感染症病床（棟）へ外部から直結する専用エレベータの設置。

採用度	5.0
カテゴリ順位	37

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	1	0	0	2	4	1



総合順位

81

1-098

患者の把握

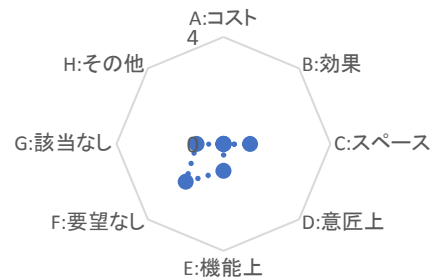
病室前廊下の看護拠点

病室前廊下に重症患者等の観察のためガラス窓と作業カウンターを設置。

採用度	4.5
カテゴリ順位	10

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	1	0	1	2	1	0



総合順位

81

1-089

患者の把握

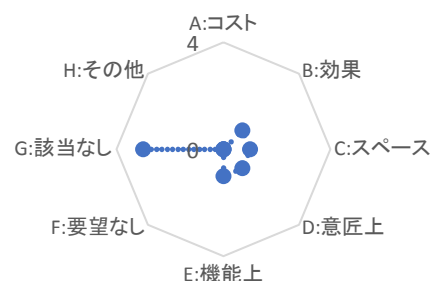
外部からメンテナンス可能な配管

メンテナンス作業時に入院患者に埃等による影響がないよう、病棟の配管シャフトをバルコニー等の外部に計画。

採用度	4.5
カテゴリ順位	11

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	1	1	1	0	3	0



総合順位

83

1-002

転倒・転落

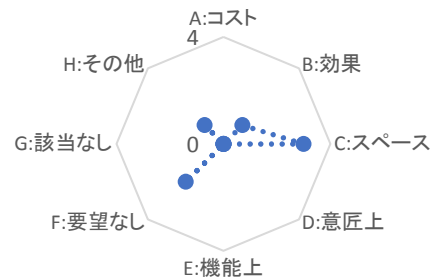
床頭側に配置されたトイレ

ベッドからトイレへ壁の手すり伝いに移動できるようにトイレをベッドの頭側に計画。

採用度	4.0
カテゴリ順位	32

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	3	0	0	2	0	1



総合順位

83

1-086

感染

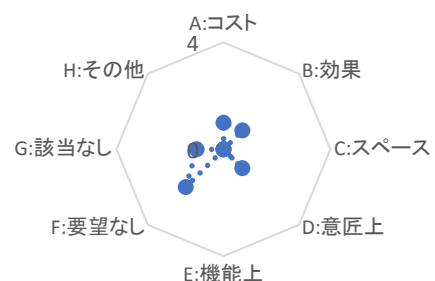
病室前に感染予防策の集約

廊下の病室出入口脇の壁（病室前）に視認性が良く交換が容易なサインと手指消毒薬を設置するスペースを確保。

採用度	4.0
カテゴリ順位	38

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	1	0	1	0	2	1	0



総合順位

85

1-004

転倒・転落

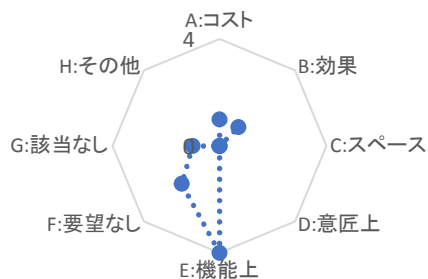
ベッドの壁寄せ配置が可能な コンソールの配置

ベッドからの転落防止のため、患者の状況に合わせてベッド側面を壁に寄せて配置しても機能する位置に医療ガスコンソールを設置。

採用度	3.5
カテゴリ順位	33

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	1	0	0	4	2	1	0



総合順位

85

1-023

転倒・転落

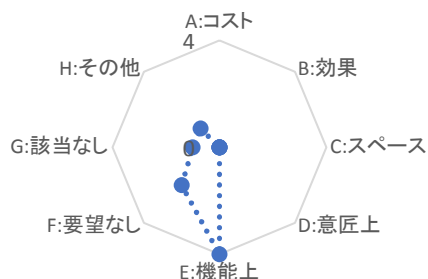
衝撃防止のためのカーペット

転倒時の衝撃を緩和することができ、水に濡れた靴でも転倒しにくいタイルカーペットを床材料に採用。

採用度	3.5
カテゴリ順位	34

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	4	2	1	1



総合順位

85

1-033

転倒・転落

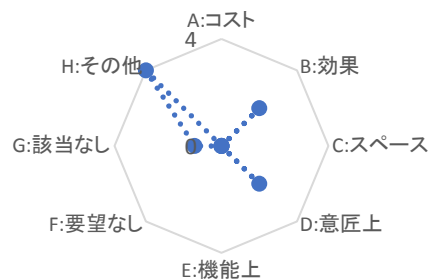
病室窓の転落防止手すり

病室の窓部分に転落防止用に手すりを設置。

採用度	3.5
カテゴリ順位	35

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	2	0	2	0	0	1	4



総合順位

85

1-085

感染

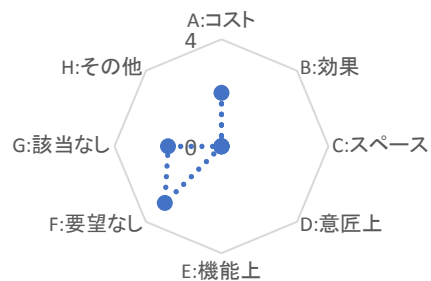
必要な感染予防対策を表示する 病室前モニター

病室前に設置したモニターに当該患者に必要な感染予防対策を表示。

採用度	3.5
カテゴリ順位	39

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
2	0	0	0	0	3	2	0



総合順位

85

1-087

感染

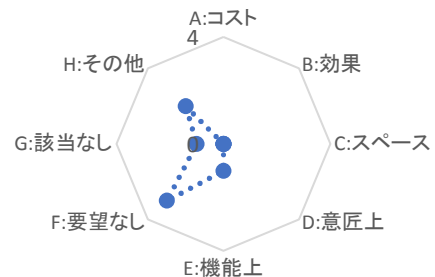
清潔区域の床面サイン

清潔区域の範囲を、文字や一般部とは異なる色彩を使用した床サインにより表示。

採用度	3.5
カテゴリ順位	40

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	1	3	1	2



総合順位

90

1-020

転倒・転落

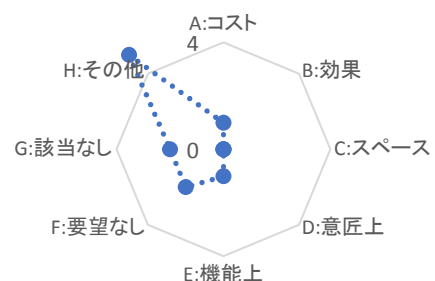
患者の身体状況に合わせ 座面の高さを変えた椅子

患者が自身の身体状況に合わせて選択できるように、いくつか座面の高さを変えた待合椅子を採用。

採用度	3.0
カテゴリ順位	36

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	0	0	0	1	2	2	5



総合順位

90

1-053

感染

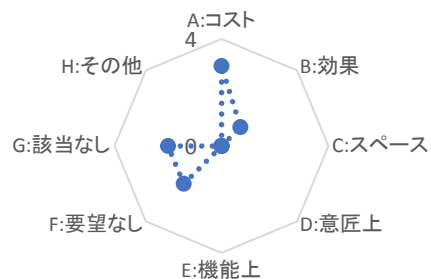
病室の床付近からの排気

病室の空気の流れを一定にし、患者周辺の空気の清浄度を保つため、天井から給気し床付近の壁から排気する空調システムを採用。

採用度	3.0
カテゴリ順位	41

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
3	1	0	0	0	2	2	0



総合順位

92

1-080

感染

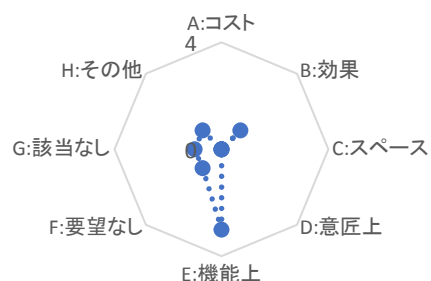
埃だまりがないペーパータオルホルダー

ペーパータオルホルダーのカバーに溜まる埃を無くするため、カバーのないホルダーを採用。

採用度	2.5
カテゴリ順位	42

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	0	0	3	1	1	1



総合順位

92

1-082

感染

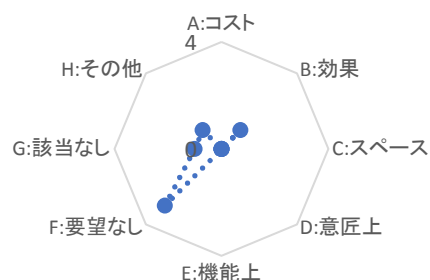
一体化された手指消毒ホルダーと 使用手順パネル

患者・見舞客の手指消毒の励行を促すため、病室前に手指消毒ホルダーとその使用手順を明示したサインを設置。

採用度	2.5
カテゴリ順位	0

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	1	0	0	0	3	1	1



総合順位

94

1-100

患者の把握

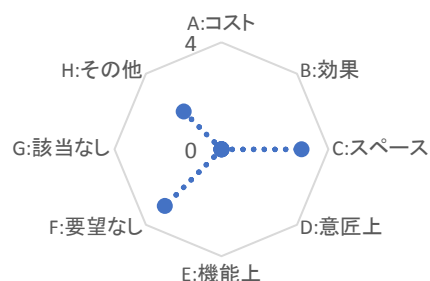
スタッフステーションから見やすい トイレの扉

病棟廊下のトイレへの出入りの状況を観察しやすいようにするため、トイレ扉をスタッフステーションから見やすい位置に計画。

採用度	1.5
カテゴリ順位	12

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	3	0	0	3	0	2



総合順位

94

1-071

感染

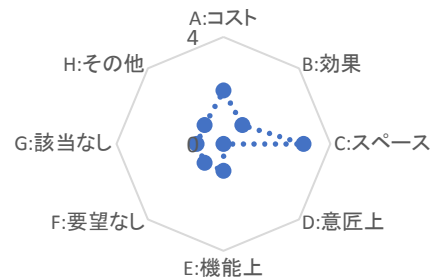
床頭をずらすことによる飛沫感染の防止

4床室等で隣り合うベッド間の飛沫感染リスクの軽減のため、ベッドの頭の位置をずらして配置する（雁行状）病室レイアウトを計画。

採用度	1.5
カテゴリ順位	44

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
2	1	3	0	1	1	1	1



総合順位

94

1-072

感染

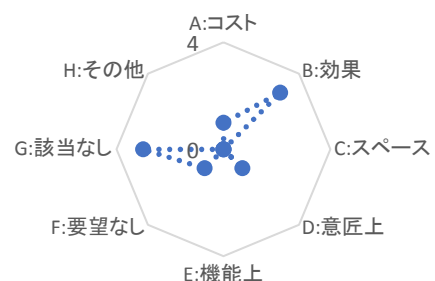
可動壁の廊下区画による簡易前室

病室前の廊下の一部を可動間仕切り等で前室化できるように計画。

採用度	1.5
カテゴリ順位	45

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
1	3	0	1	0	1	3	0



総合順位

97

1-032

転倒・転落

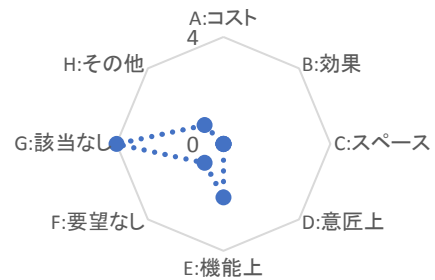
転落に備えたせり出しと植木

精神科病棟における上層階からの飛び降りに対する備えとして、衝撃緩和のための中間階のせり出し部分の設置や、転落が想定されるエリアに植栽を設置。

採用度	1.0
カテゴリ順位	37

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	0	0	0	2	1	4	1



総合順位

98

1-022

転倒・転落

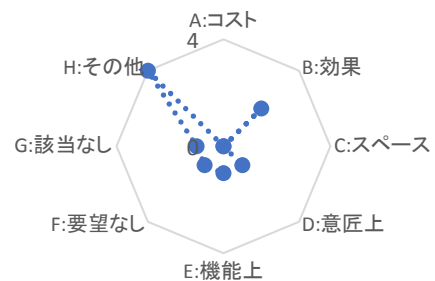
風除室の床埋め込み型玄関マット

床置き玄関マットによる段差をなくすため、床埋め込み型の樹脂製玄関マットを採用。

採用度	-2.0
カテゴリ順位	38

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	2	0	1	1	1	1	4



総合順位

99

1-006

転倒・転落

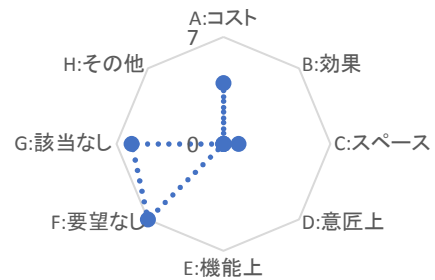
ベッドサイドに設置された移乗用リフト

移乗の際の転倒や転落を防止するため、移乗用リフトをベッドサイドに設置。

採用度	-6.0
カテゴリ順位	39

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
4	0	1	0	0	7	6	0



総合順位

99

1-062

感染

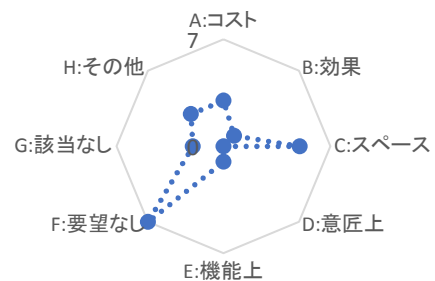
病棟のベッド洗浄スペース

病棟フロア内にベッド洗浄スペースを設置。

採用度	-6.0
カテゴリ順位	46

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
3	1	5	0	1	7	2	3



総合順位

101

1-090

患者の把握

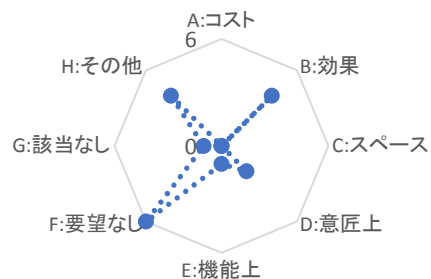
床に書かれたベッド番号

ICUのオープンタイプの病床エリアなどで、患者を把握しやすいように、各ベッドに対応した位置の床に大きくベッド番号を表示。

採用度	-8.5
カテゴリ順位	13

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	4	0	2	1	6	1	4



総合順位

102

1-040

感染

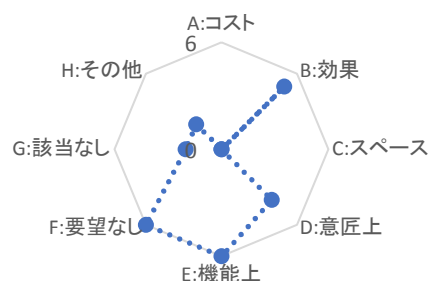
廊下を簡易に分節するビニールカーテン

応急的に外来廊下等を感染患者用待合に転用できるように、あらかじめエリアを区画するビニールカーテンのためのレール等を設置。

採用度	-10.5
カテゴリ順位	47

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
0	5	0	4	6	6	2	2



総合順位

103

1-088

感染

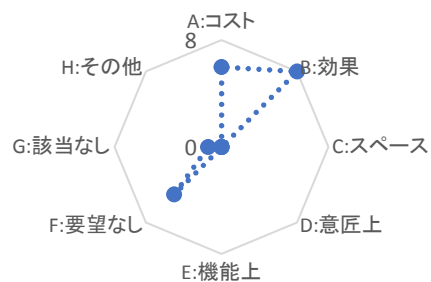
殺菌性のある銅の取っ手

銅の殺菌効果に期待し、建具取っ手に銅製の製品を採用。

採用度	-12.0
カテゴリー順位	48

採用しない理由

A:コスト	B:効果	C:スペース	D:意匠上	E:機能上	F:要望なし	G:該当なし	H:その他
6	8	0	0	0	5	1	0



2017 年度 課題研究

医療施設の安全・安心に関する事例調査報告書

－設計における建築・設備の工夫の採用実態－

2018 年（平成 30 年）3 月発行

一般社団法人 日本医療福祉建築協会

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館

TEL 03-3453-9904 FAX03-3453-7573

禁無断転載
